

9B-2 42.56
年少労働調査資料 第54集

アルバイト中学生徒の労働実態調査

— 結果報告 —

昭和39年12月

労働省婦人少年局

は し が き

婦人少年局では、かねてから新聞配達、ゴルフ・キヤデー等に従事している生徒の就労の実態を把握し、これ等に対して関係方面とも協力の上で必要な保護のための方策をすすめてきたところである。

昨今、若年労働力の需給の緊張によりその不足が目立ち、このため各企業のアルバイトに依存する度合が従来より大きく高まっているものと推測されるので、当局では、アルバイトに従事している中学生徒の仕事の種類、労働条件、生活環境、中学が実施している対策等に関する実態を明らかにするため、本年はアルバイト生徒全般を対象として、全国21都市において実態調査を実施した。

調査の内容は学校調査によつて学校当局のアルバイト中学生徒に対する対策、指導方針およびその影響（本人及び学校全体に対する）等について明らかにすると共に、個人調査により、アルバイト中学生徒自身の就労の実態と意識については握しようとしたものである。（家庭環境については担任教師の記入により明かにした。）

この報告書が、中学校当局、使用者、ならびにこの問題に対して深い関心を持つ方々の御参考となりひいてはアルバイトに就労している中学生徒の上にき保護があたえられることとなれば誠に幸である。

おわりに、この調査の実施にあたり、多大の援助と御協力を賜わった方々に対し心から感謝の意を表する次第である。

昭和39年11月

労働省婦人少年局

目 次

は し が き

〔I〕 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の構成	1
3 調査の範囲	1
4 調査対象の選定	2
5 調査の時期および担当者	3
6 調査方法	3
〔II〕 調査結果の概要	4
1 個人調査結果	4
2 学校調査結果	8
〔III〕 調査結果	10
I 学校調査結果	10
1 対象中学校数	10
2 地域別、学年別の生徒数	10
3 地域別、時期別、職種別アルバイト生徒数	10
4 使用許可書の発行のための学校長の証明件数	10
5 学校が証明を行なうにあつての基準	11
6 学校におけるアルバイト生徒の指導	12
7 アルバイト生徒の父兄に対する中学校の希望および助言	12
8 アルバイト生徒を雇用している事業所に対して学校の望むことおよび指導助言	13
9 アルバイト就労の影響(学業ならびに健康に及ぼす影響)	13
10 アルバイト就労の人格形成に及ぼす影響と学校の対策	14
(i) 常時アルバイト	14
(ii) 夏期アルバイト	14
11 アルバイト就労による災害・疾病	14
12 医療費の負担と傷害の程度	15
13 アルバイト就労の学校教育全体に及ぼす影響およびその対策	15
14 アルバイト就労について学校のとつている態度	15
II 個人調査結果	17
1 アルバイト就労生徒数の構成	17
2 過去1年間に行なつたアルバイトの時期とその内容	17
(1) 地域別アルバイト内容および時期	18
イ 農業都市におけるアルバイトの内容および時期	18
ロ 商業都市におけるアルバイトの内容および時期	18
ハ 工業都市におけるアルバイトの内容および時期	18

ニ 6大都市におけるアルバイトの内容および時期	18
4 アルバイトの職種	19
5 仕事についてからの期間	20
6 勤務先の事業所の従業員数	20
7 労働条件	22
(1) 雇用期間	22
(2) 労働時間	23
イ 始業時刻別アルバイト就労生徒数	23
ロ 実労働時間別のアルバイト生徒数	24
(3) 休日回数(制度として)	24
(4) 賃金の型態	25
(5) 賃金のもらい方	26
イ 賃金のもらい方別アルバイト生徒数	26
ロ アルバイト生徒の時間給金額	26
ハ アルバイト生徒の日給金額	27
ニ アルバイト生徒の週給金額	28
ホ アルバイト生徒の月給金額およびアルバイト就労日数	28
8 賃金の使途等	29
(1) 賃金の使途	29
(2) 家に入れる金額	29
(3) 貯金額	30
9 仕事の世話	30
10 仕事を始めた理由	30
(1) 常時アルバイトについて	30
(2) 夏期アルバイトについて	31
11 両親又は保護者は就労を知っているか	32
12 アルバイト就労の感想	32
(1) 常時アルバイト	32
(2) 夏期アルバイト	33
13 アルバイト就労による傷病など	34
14 アルバイトをしていて勉強上困ること	34
15 アルバイト就労生徒の希望	34
Ⅲ 個人環境調査結果	36
1 アルバイト生徒の生活程度その他	36
2 両親の有無と家の中心となつてゐる働き手	36
3 本人の健康状態・欠席日数	37

〔1〕調査の概要

アルバイトの概念

アルバイトとは普通「労働」「業績」の意味につかわれ、またわが国では一般に内職の意味にも使われている。しかしこのアルバイトと云う言葉は各人の立場や環境等によつてそれぞれその意義を異にしている。

従つてこの調査では、「アルバイト」の意味を中学校に在学しているものが主として余暇時間に、事業所に雇用されて労働に従事することと定めてその実態をは握することとした。

1 調査の目的

婦人少年局においては、アルバイトに従事している中学生徒の就労の状況について、従来、新聞記述、牛乳配達、ゴルフキャディー等の個々に、かつ随時、調査を実施してその実態を明らかにしてきたところであるが、昨今、若年労働力の需要がひきしまり、その不足が目立っている折から、事業所がアルバイトに依存する度合が高まっていることが予測され、また、その就労職種も多岐にわたっているので、今日における実態を明らかにして、年少者の保護福祉の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の構成

(1) 個人調査（付環境調査）

(2) 学校調査

3 調査の範囲

(1) 調査都市

6大都市 — 東京都（23区内のみ）、横浜市、名古屋市、大阪市、神戸市、京都市

工業都市 — 釜石市、川口市、静岡市、布施市、北九州市（八幡区のみ）

商業都市 — 札幌市、水戸市、岐阜市、戸田市、熊本市

農業都市 — 東根市（山形県）、成田市（千葉県）、黒部市（富山県）、西大寺市（岡山県）、北条市（愛媛県）

(2) 対象中学校

上記各地区における公立中学校のうちから一定の方法（4（1）参照）により選定された160校。

第1表 地域別対象中学校数

	学 校 数	％
計	160	100
6大都市地区	103	64.5
農 業 都 市	12	7.5
工 業 都 市	25	15.6
商 業 都 市	20	12.4

(3) 対象中学生徒

上記対象中学校に在学し、昭和38年6月1日から、同年8月31日までの間において、アルバイト（個人調査については新聞配達生徒を除く）に従事した生徒全員とする。

第2表 地域別、性別アルバイト生徒数

	計	男 子	女 子
計	6 2 2 8	3 8 7 2	2 3 5 6
6 大 都 市 地 区	5 4 3 3	3 3 4 8	2 0 8 5
農 業 都 市	4 0 6	2 5 9	1 4 7
工 業 都 市	2 0 8	1 5 2	5 6
商 業 都 市	1 8 1	1 1 3	6 8

アルバイト児童生徒労働実態調査票（予備調査）

昭和38年9月9日
労働省婦人少年局

学 校 名			学 校 番 号	
所 在 地			1	2
電 話 ()				
項 目	学 年	計	男 子	女 子
1) 在 校 児童生徒総数	1 年 2 年 3 年			
2) アルバイト 児童生徒総数	1 年 2 年 3 年			※ 計 2/1 × 100
3) 夏期アルバイト 児童生徒総数	1 年 2 年 3 年			※ 夏 期 3/1 × 100
4) 常時アルバイト 児童生徒総数	1 年 2 年 3 年			※ 常 時 4/1 × 100

○「夏期」の欄には昭和38年夏期休暇において、他人に雇われて就労し、その就労日数が継続又は通算して7日以上である、児童、生徒の全数を記入する。

○「常時」の欄には昭和38年6月1日から8月31日までの間における就労期において他人に雇われて就労した者（就労期及び夏期休暇を通じて就労した者をふくむ。）であつて、その就労した日数が継続又は通算して7日以上であるものの数を記入する。

※印は当局
（において記）
入する。

○小学校児童については、学年別区分は必要としない。

4 調査対象の選定

(1) 学校調査の対象学校を選定するために、別添録式の往復はがきにより予備調査を行った。その対象としては、6大都市および工業都市、商業都市、農業都市から地域性をよく代表しているとみられる21都市を選び、それらの都市の小学校および中学校を対象として悉皆調査を行なつた。（小学校は総数の半）

この予備調査の回収率は小学校では66.5%、中学校では65%であつたが、これらの学校における平均アルバイト率は次のとおりである。

- (i) 小学校児童の平均アルバイト率 0.5%
(全校児童に対するアルバイト児童数の割合の20.8校平均)
- (ii) 中学校生徒の平均アルバイト率 5.4%
(全校生徒に対するアルバイト生徒数の割合の57.9校平均)

このようにして得られた資料にもとづき、学校調査は中学校のみを対象とすることとし、アルバイト率が6大都市では6%以上の103校(東京のみは対象学校はさらに $\frac{1}{2}$ とした)、農業都市、工業都市、商業都市では各々3%以上の12校、25校、20校を調査対象学校として選定した。

- (2) 個人調査は、対象となつた中学校に就学している年少者でアルバイトに従事している(新聞配達をのぞく)生徒全員をその対象とした。
- (3) 環境調査は、担任教師に依頼し、対象生徒の家庭環境につき記入をもとめた。

5 調査の時期および担当者

昭和38年6月1日から8月末日までの間に従事したアルバイトについて、昭和38年10月～11月30日の間に実施した。

なお、調査の担当は婦人少年室職員および臨時調査員があつた。

6 調査方法

この調査は、学校調査および個人調査(付環境調査)の二種とし、労働省婦人少年局において作成した調査票にもとづき、婦人少年室職員および臨時調査員において学校長および中学生徒に面接して調査を実施した。

〔Ⅱ〕 調査結果の概要

1 個人調査結果

(1) アルバイトの時期

昭和37年9月1日から昭和38年8月末日の間に就労したアルバイト中学生生徒の就労時期は「常時」と「やすみのみ」に大別されるが、合計では「常時」アルバイトの生徒22.6%、「やすみのみ」の生徒は7.6%、「常時とやすみ」（常时就労のほか、長期休暇にはさらに他のアルバイトに従事している等の場合）とともに就労したものは1.4%となつている。さらに地域別では「常時」アルバイト生徒の割合の高いのは商業都市で、アルバイト生徒の51.9%、ついで工業都市では26.4%、となつており、また「やすみのみ」のアルバイト生徒が目立つのは6大都市で、7.7.3%となつている。

(2) アルバイトの職種

アルバイトの職種は全地域の合計では常時アルバイトが22.8職種にのぼり一方、夏期のアルバイトは6.6.8職種みられる。

常時アルバイト生徒は販売員（食料品店員、八百屋、魚屋、菓子屋等店員等）が一番多くて59.4%、ついで建築木工その他の作業従事者が27%、ついで単純労働者4.6%が目立ち、またその他は22.2%となつている。また夏期アルバイト生徒の職種では一番多いのは建築、木工その他の作業従事者で33%、ついで販売員（同上）が29.6%、金属電気機械器具製造修理関係従事者13.4%、単純労働者11%の順でその他のものは10.4%みられる。

注：

- 1) 常時アルバイトとは、昭和38年6月1日から8月末日までの間の就学期に、他人に雇われて就労した者（就学期および夏期を通じて就労した者を含む）で、就労日数が継続又は通算して7日以上であるものをさす。
- 2) 夏期アルバイトとは昭和38年夏期休暇中に、他人に雇われて就労し、その就労した日数が、継続又は通算して7日以上である者をさす。

(3) アルバイト就労の期間

仕事についてから8月末日までの期間については、常時アルバイトの生徒では3か月未満が最も多くて36%、ついで3か月～6か月未満が21.2%、1年未満のもの合せて76.8%を占め、短期間の就労の多いのが特質といえるが一方3年～4年未満が1.4%、4年以上1.4%と長期にわたつて就労しているものも少数ながらみられる。さらに地域的な特質としては、3か月未満の就労期間のものは農商業都市よりは工業および6大都市においてその割合が高く、一方3か月以上6か月未満の期間の生徒の割合は逆に農、商業都市が工業および6大都市よりも目立つて高い。

(4) アルバイト先の事業所の規模

常時アルバイト生徒の勤め先の従業員数をみると、1人～4人の事業所に働らくものが最も多く36.3%、ついで5人～9人の事業所が33.4%で30人未満の事業所に働らく生徒は合計84.2%を占めており、一方1000人以上の規模の事業所に働らく生徒は0.2%ときわめて少ない。さらに夏期アルバイト生徒についてみると、常時アルバイト生徒よりもその規模は広い範囲に働いているのがみられ、1人～4人の事業所に26.2%、5人～9人の事業所に22.7%、30人未満の

事業所に働く生徒は69.9%と常時アルバイト生徒よりも少なく、一方30人～99人の事業所にも11.6%働いている。

(別添)

規模別適用事業所年少労働者数

規模 年少労働者数	人 1～9	人 10～29	人 30～49	人 50～99	人 100～299	人 300人以上
年少労働者数	千人 287	千人 348	千人 137	千人 161	千人 238	千人 363
%	20.0	17.3	9.6	11.2	16.6	25.3

注：昭和38年4月現在

資料出所：労働省労働基準局「労働基準法適用事業場数および労働者数」

(5) 労働条件

いま、上表の労働基準法適用事業場に働く年少労働者の規模別分布をみると、1人～30人未満には37.3%の年少労働者が働いて、上記アルバイト生徒は比較的零細規模事業所に集中して働いているのが知られる。

(イ) 労働時間

アルバイト生徒の実労働時間は、常時就労のものでは最も少ないものは30分で30分から8時間以上の生徒までその巾はひろい。最も多いのは1時間30分～1時間59分の生徒で15%、ついで2時間～2時間29分が14%、1時間～1時間29分までが12.9%みられ、2時間30分未満のものは合計44.2%となつている。

つぎに夏期アルバイト生徒の実労働時間をみると、59分以内の短いものから8時間以上まで巾広く分布しているが、一番多いのは8時間～8時間29分の生徒で、31.2%、ついで7時間30分～7時間59分の生徒は10.3%、9時間～9時間29分の生徒11.1%の順にみられ、7時間未満のものは夏期アルバイト生徒の24.0%、8時間未満のものは47.5%である。しかし夏期アルバイト生徒は毎日就労しているもののみではないのでその点考慮してみる必要があろう。

(ロ) 休日回数(制度)

毎日働いているもののみについて8月中の休日回数をきいたが、常時アルバイトのものでは休日がないと答えたものが一番多くて36.1%、月2回のものが20.1%、ついで週休と答えたものが19.1%みられる。しかしアルバイト生徒がパートタイムで行なうような職種に就労しているものも相当あることを考慮することが必要であろう。

さらに地域別では休日が月に3日と答えた生徒および週休と答えたものは6大都市においてその割合が目立つて高くなつている。

つぎに夏期アルバイト生徒の休日回数は、週休のものが一番多く46.2%、ついで休日はないが18.2%、月3回8.9%が目立ち、週休のものは工業および6大都市においてその割合が高く、一方休日がないという答えは農業都市において目立つてその割合が高くなつている。(55.1%)

(ハ) 8月中の収入

常時アルバイトでは月給制として賃金をもらうものが多く(53.4%)、一方夏期アルバイトでは日給制により賃金をもらうものが目立つ(64.9%)が、まづ時間給のもの46.5人についてみると、その金額は1時間最低10円から最高150円までみられ、そのうち最も多いのは30円～39円のもので合計では33.3%のものがこの金額をもらっている。ついで多いのは40～49円で28.2%、50円～59円が24.1%みられる。時間給の金額は地域によりその差は大きく農業都市では最低30円(農林、漁業従事者)～最高50円(農林、漁業従事者)であるが6大都市では最低10円(工員)から最高150円(単純労働者)におよんでいる。

つぎに日給制のものについてみると、最低29円から最高1500円までであるが、300円～399円のもものがその割合が最も高く42.1%、ついで200円～299円が23.1%、400円～499円が16.1%みられ、日給500円未満のものは合計94.4%にのぼっている。つぎに地域別では6大都市において比較的日給の高い300円～399円のもものが44.8%みられるが、農業および工業都市では200円～299円が最も多くみられ、43.8%および36.4%を占めている。

なお、最低の日給29円のもものは商業都市の販売員、また最高の1500円は6大都市のやはり販売員にみられる。

つぎに月給によるアルバイト収入の金額をみると、合計では1000円以下から13000円以上までみられるが、一番多いのは3000円～3999円のもので19.9%、ついで2000円～2999円のもものが14.0%、4000円～4999円のもものが13.5%となつている。さらにこれらを就労日数26日以上のものに限つてみると、やはり一番多いのは月給金額3000円～3999円のもので23.6%、ついで4000円～4999円のもの15.6%、2000円～2999円のもの14.9%の順となつている。なお、最低の1000円以下のものは各地域ともみられ、一方、13000円以上のものは6大都市のみにみられる。

(6) 賃金の使途

賃金を家人にみせるものは常時アルバイト生徒では95.7%、夏期アルバイト生徒では92.5%であるが、家人に賃金をみせないものも常時アルバイトでは2.8%、夏期アルバイトでは2%みられる。

賃金の使途は常時アルバイトでは家人に全部出し改めてこづかいをもらうものが一番多く32.5%、ついで一部分を家に出すものが25.7%、一度家に全部出しそれをみんなもらうものが11.5%となつているが、夏期アルバイトではこの傾向はややことなり、一部分を家に出すものの割合が一番高く26.7%、ついで家人に全部出し改めてこづかいをもらうものは25.5%、一度家に全部出しそれをみなもらうものは17.2%となつている。

家に入れる金額をみると、常時アルバイトのものでは1000円～1199円のもものが22.0%、2000円～2499円のもものが16.7%みられるが、その金額は最低100円から最高20000に及んでいる。また夏期アルバイトのものの家に入れる金額は1000円～1199円のもものは1.8%、2000円～2499円のもものが16.8%みられ、3000円～3499円のもものは11.8%となつており、その金額は最低100円から最高15500円まで巾ひろく分布している。

(7) 仕事を始めた理由

常時アルバイト生徒の仕事を始めた理由として目立つのはこづかいを得るためとのべたものが

34.3%、ついで買いたいものがあるためが30.2%、貯金をするためが27.3%みられ、また家のくらしを助けるため18.2%がこれについている。さらに地域別ではその理由に幾分特質がみられ、農業都市では買いたいものがあるためが41.3%と最も多く、商業および6大都市ではこづかいを得るため、と答えたものが目立ち、さらに工業都市では貯金をするためと答えたものが38.3%みられる。

つぎに夏期アルバイトのものの就労の理由をみると、買いたいものがあるためが一番多くて36.0%、ついでこづかいを得るためが32.6%、貯金をするため16.7%、家のくらしを助けるためが9.9%となつてゐる。ついで地域別にみると、農業都市ではこづかいを得るためが40%で一番目立ち、家のくらしを助けるためと答えたものは9.6%であるが、その他の都市では買いたいものがあるためが一番目立ち、一方家のくらしを助けるためとのべたものは商業都市および工業都市に目立つてゐる。(第6表参照)

(8) 仕事を世話してくれた人

アルバイトの仕事を世話してくれた人についてみると、一番多いのは友達で26.8%、ついで家族が23.3%、知人19.4%、自分でさがしたものが16.8%となつており、4割以上の中学生徒が友人、自分などきわめて安易な方法で仕事をさがしてアルバイトに就労しているのが目立つ。とくに地域別では農業以外の都市において友達および自分によるアルバイト就労のものが目立つてゐる。

(9) アルバイト就労の感想

常時アルバイト生徒の就労の感想の主なものをあげると次のとおりである。

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ○ 金がたまつて良かつた。いろいろのものが買えた。貯金が出来た。 | 70.9% |
| ○ 朝早く規則正しく起されたので健康によいと思つた。 | 38.0% |
| ○ 金を得ることは大変な労働であることがわかつた。 | 32.9% |
| ○ 体が丈夫になつた。 | 29.3% |
| ○ 社会の事など良くわかつた。良い経験が出来た。 | 21.6% |

つぎに夏期アルバイトの生徒の就労の感想をみると、常時アルバイトとややことなり、

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ○ 金がたまつて良かつた。いろいろのものが買えた。貯金が出来た。 | 38.3% |
| ○ 社会の事などよくわかつた。良い経験になつた。 | 15.0% |
| ○ 主人の店の人が親切でよかつた。 | 14.0% |
| ○ 金を得ることは大変な労働だということがわかつた。 | 9.5% |

等が主なものである。

またアルバイト就労について困つたこと、いやだと思つたことについては次のような感想がみられる。

- | | |
|--------------------------|-------|
| ○ ねむい。 | 21.2% |
| ○ 雨がふるとぬれ、風邪で学校を休むこと。 | 19.9% |
| ○ 配達先で犬やいやみをいわれて困ることがある。 | 9.8% |
| ○ つかれのため勉強ができない。 | 9.3% |

(10) アルバイト生徒の家庭

常時アルバイトに就労している生徒の家庭の生活程度は担任教師が普通とのべているのが過半数

の52%、ついでやや貧困な家庭は29.7%、貧困な家庭は14.5%みられ、貧困なものは合計44.2%となつている。

また貧困な家庭の多くみられるのは工業都市で、46.1%、ついで6大都市で44.8%で、一方農業都市39.1%、商業都市37.9%とやや下まわつている。

また、夏期アルバイト生徒の家庭の生活程度は、普通以上が60.6%で常時アルバイト就労のものより上まわつているが、一方貧困なものの合計は37.3%となつている。

さらに貧困なものについて地域別にみると、農業、商業、工業都市の貧困なものの割合は45.2%、4.8%および4.3%で、6大都市の貧困なものの割合35.8%より大きく上まわつている。

さらに生活保護法の適用状況をみると、常時アルバイト生徒では計において24.1%の世帯がその適用を受けているが、さらに地域別では工業都市における適用世帯の率がさらに高く26.1%、6大都市では25.4%で農業および商業都市の17.4%および11.1%をはるかに上まわつている。

また夏期アルバイト生徒の世帯では計において生活保護法の被適用の割合は18.2%で常時アルバイト生徒より目立って低く、ついで地域別では工業都市の被適用世帯の割合は32.3%と目立って高いが、6大都市の被適用世帯の割合は常時アルバイトのものより低く17.5%となつている。
(厚生省調査による保護率は全国で18.2%、昭和38年9月現在)

2 学校調査結果

(1) 出欠状況

夏期のみ就労するものを除き、常時アルバイト就労のものについて38年6月分の欠席日数をみると、事故欠席日数5日以上のもは21人で、調査対象常時アルバイト生徒の3.4%にあたるが、毎月はこの程度の欠席があるものとしてこの結果より推計すれば年間通算50日以上事故欠席をする長欠就労者は約3%程度在籍することが推定される。

(2) 使用許可書の発行のための学校長の証明件数

常時アルバイト生徒数に対して学校長の出している証明件数の割合をみると、まったく証明を出していない学校が4.5%みられ、一方アルバイト生徒全員に対して証明を出している学校は16.3%、ついで40～59%のものに証明を行なつている学校は69%みられる。

また夏期アルバイト生徒に対しては、常時アルバイト生徒の場合とくらべて、10.0%証明を出している学校は11.9%と減少し、一方証明を出していない学校は69.5%と常時アルバイト生徒の場合より上まわつている。

(3) 学校が証明を行なうにあつての基準

アルバイト生徒に対して学校が証明を行なうにあつては、基準をもうけている学校は常時アルバイトについて119校、夏期アルバイトについては97校みられるが、その内容をみると、常時アルバイトについては「学校教育に支障のない時間に勤務すること」をはじめとして40項目、夏期アルバイトについては34項目の基準をかかげている。

その基準の主なものを上げると、常時アルバイトでは

- | | |
|---|-------|
| ① 学校教育に支障のない時間に勤務すること。 | 13.6% |
| ② 本人の健康上支障のないことを確かめる。 | 13.9% |
| ③ 家庭経済とにらみ合せ、止むを得ないと認めた場合(学校長および担任が判断を行なう。) | |

9.7%

等かみられ、また夏期アルバイト生徒の許可に対しては次のような基準を上げている。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ① 本人の健康と性格を吟味する。 | 12.1% |
| ② 家庭の保護者の承認のあるもの。 | 8.7% |
| ③ 危険な仕事や過労な仕事でないこと。 | 8.7% |
| ④ 家庭生活の経済状態を考慮して止むを得ないとみとめたもの。 | 8.1% |
- 等の配慮を行なっている。

【Ⅱ】 調査結果

I 学校調査結果

1 対象中学校数

調査対象となつた学校は総数160校にのぼっているが、このうち64.5%は6大都市地区の中学校が占めており、これについて工業都市の中学校が15.6%、商業都市の中学校が12.4%、ついで農業都市の中学校が7.5%である。

2 地域別、学年別の生徒数

昭和38年8月31日現在における調査対象中学校の生徒数は、合計187,221人で、このうち男子は99,117人、女子は88,104人となつている。またその内訳をみると、6大都市が生徒が多く66.9%、ついで工業都市の生徒数が16.4%、商業都市の生徒数は12.0%、また農業都市の生徒数は4.7%となつている。

3 地域別、時期別、職種別アルバイト生徒数

以上の中学校生徒のうちアルバイトに就労しているものを地域別、時期別、職種別にみると、まず常時アルバイトではその職種は新聞配達が一番多く68.9%、牛乳配達12.4%、商店員7.6%、工員4.9%、ゴルフキャディー2.1%の順となつている。なお、地域別では職種についての大きな差はみられない。さらに性別にみると計では男子は1年～3年まで合計4759人、女子は398人で、男子は92%、女子は8%となつている。

つぎに夏期のアルバイトについてみると、その職種は常時アルバイトとはことなり、工員として働いているものが一番多く40.3%、ついで商店員として働いているものがこれにつづき、25.7%みられ、また新聞配達をしているものは14.2%となつている。また男女別をみると、男子は3863人で62.6%、女子は2313人で37.4%となつている。

4 使用許可書の発行のための学校長の証明件数

アルバイトに就労している生徒に対して、学校長による「就労に差しつかえない旨」の証明がどの程度出されているかについてその割合をみると、100%の学校から証明をまったく出していない学校までみられる。

まず常時アルバイト生徒に対しての証明についてみると、合計では証明を出していない学校が45%にのぼり、ついで証明をすべてのアルバイト生徒に出している100%学校が16.3%、ついで59～40%の学校が6.9%みられる。

さらに地域別にみるとアルバイト生徒の100%に証明を出している学校は工業都市でその割合が一番高く32%みられ、ついで農業都市25%、商業都市20%で、6大都市が10.7%と最も低くなつている。

つぎに夏期アルバイト生徒についての学校長の証明についてみると、常時アルバイト生徒の場合とくらべて100%証明を出している学校の割合は11.9%と減少し、一方証明を出していない

学校は69.5%とさらに大きく常時を上まわっている。

5 学校が証明を行なうにあたっての基準

アルバイト生徒に対して学校が証明を行なうにあたっては基準をもうけているものについてその内容をみると、「学校教育に支障のない時間に勤務すること」をはじめとして常時アルバイトについてはなしと答えた41校をのぞく119校で、40項目におよぶ基準を上げており、一方夏期アルバイトについてはなしと答えた63校をのぞき、97校で34項目の基準を上げている。

まず、常時アルバイトの生徒に対して学校が定めている証明の基準の主なものをみるとつぎのとおりである。

答えた項目の総合計(433)に対する割合(重複して答えているので合計は学校数と一致しない)

- ① 本人の健康上支障ないことを確かめる。13.9%
- ② 学校教育に支障のない時間に勤務すること。13.6%
- ③ 家庭経済状況とにらみ合せ、止むを得ないと認めた場合。(学校長および担任教師が判断を行なう) 9.7%
- ④ 家庭における保護者の承認のあるもの。(家庭の事情を考慮) 9.3%
- ⑤ 危険な仕事や過労はないかに注意する。7.3%、等が目立つ。

さらに地域別に基準についてみると、各地域ともに「本人の健康上支障がないことを確かめる」とのべたものの割合が高いが、農業都市では最もめだち22.6%をしめし、工業都市では「家庭経済状況とにらみ合せ、やむを得ないと認めた場合」が第一位で14.5%、商業都市では「本人の健康上支障のないことを確かめる」が第一で17.4%、さらに6大都市では「学校教育に支障のない時間に勤務すること」が一番多く15%となつている。

さらに基準として考えていることとしては「勤続如何」「事故の生じた場合の補償の有無について明確にしている事業所か否かをたしかめる」「アルバイトの経験が中学校卒業後も生かされる場所」等学校数は少ないが内容的に目立つ。

つぎに夏期アルバイトの生徒の許可に対して、学校のあげている基準の主なものをみると次のとおりである。

答えた項目の総合計347に対する割合(重複して答えているので合計は学校数と一致しない。)

- ① 本人の健康と性格の吟味する。12.1%
- ② 家庭の保護者の承認のあるもの。8.7%
- ③ 危険な仕事や過労な仕事でないこと。8.7%
- ④ 家庭の経済状況を考慮してやむを得ないと認められるもの。8.1%、等が目立つ。

さらに地域別に学校が定めている証明の基準の主なものをみると、農業都市で一番多いのは「本人の健康と性格の吟味」が23.7%、工業都市では「危険な仕事や過労な仕事でないこと」が一番目立ち14.5%、商業都市では「本人の健康と性格の吟味をする」「家庭経済状況を考慮してやむを得ないと認められるもの」および「学校教育に支障のない時間に勤務すること」等いづれも1%みられる。さらに6大都市では「本人の健康と性格の吟味」が一番目立ち12.5%の学校でこの基準を上げている。

6 学校におけるアルバイト生徒の指導

学校のアルバイト生徒に対する指導の時期は就労決定の都度行なっているものが各地域ともに目立ち、ついで常時指導をしているのがこれにつぎ、また、夏期休暇の前および随時の指導をしているものがこれについている。

学校の指導の時間としては放課後個人的に指導しているものが一番多く63.6%を占め、ついで放課後集合して全員に指導しているのは21.2%みられ、ついで社会科の時間に指導している学校は3.7%となつてゐる。

またアルバイト生徒の指導者としては、まず、指導担当教師を配置していない学校が48.2%みられ、それらの学校ではその指導者として学級担任が23.8%、生徒指導主任が11.3%みられ、一方指導担当教師を設置している学校は41.3%みられる。しかしこの指導担当教師は兼任がその95.3%とほとんどとなつてゐる。

アルバイト生徒の指導の内容としては小遣の使い方について指導している学校は46.2%、健康上の注意を与えている学校は24.4%、また学習の仕方、就労時間に指導を与えている学校は23.1%、さらに労働条件を学校へ連絡させている学校は16.9%、さらに働く心がまえについて指導している学校は22.5%にのほり、さらに就労態度・責任感等について指導している学校は20.6%みられる。

また、その割合は少ないが「店の人の協力を得られるように学校から事業所へ話をしている。」0.6%、「適性検査をしている」0.6%等がみられる。

さらに中学校の学級担任のアルバイト生徒に対する役割として答えられている事項をみると、「個人的に指導助言をする」と答えたものが一番多く3.3%、「戸別家庭訪問による指導をする」19.9%、「就職専任教師との連絡」1.0%、「雇用主との連絡（事業所訪問）」8.8%、「生徒の健康に留意（安全をふくむ）」8.1%、「ホーム・ルームの時間に指導する」7.5%、等が目立ち、一方少数ではあるが、「職員会議でアルバイト就労をさせるか否かをきめる」「担任の意見を尊重させ、アルバイトを止めさせることもある」「アルバイト就労後の子供への影響を打診する」「使用許可証明書発行の可否を認定する」等が目立つ。

7 アルバイト生徒の父兄に対する中学校の希望および助言

中学校当局としてアルバイト生徒の父兄に望むこと、および指導助言についての学校の回答には次のようなものがみられる。即ち希望として

- ・ 金銭の使途について十分指導し、無駄使い、不良化の原因をなくしてほしい。16.9%
- ・ 健全な職場であること。事業所の適否をえらんでほしい。6.9%
- ・ 生徒の健康に注意すること。健康管理。6.9%
- ・ 就学に差支えがないように留意すること。6.2%
- ・ 生活態度の健全化に注意すること。5.6%

などが目立ち、一方少数ながら、

- ・ アルバイトをしていることを親は知つてほしい。0.6%
- ・ 親が資金の前借をしないこと。0.6%

また、指導助言としては、

- ・ 父兄にあつた時に話す。6%

- 学校に連絡するように助言する。5%

等がみられる。

8. アルバイト生徒を雇用している事業所に対して学校の望むことおよび指導助言

中学校当局がアルバイト生徒を雇用している事業所に対して望むことおよび指導助言についてみるとまづ望むこととして主なものは、

- 事業所は学校に連絡してほしい。33.2%
- 労働条件を明示すること。17.5%
- アルバイトの場が常々教育の場であることを心にかけてもらいたいこと。16.3%
- 年少者を酷使しないこと。12.5%
- 安全に注意すること。11.9%

つぎに学校が事業所に対して行なっている指導助言としては、

- 給与の支払い等は家庭とも充分連絡しておいてもらいたい。10.6%
- 職場訪問により、労働過重とならぬように注意している。6.2%
- 無理のないように使つてほしい。(労働時間等) 3.8%
- 生活の状況を学校に常時連絡してほしい。3.8%

9. アルバイト就労の影響(学業ならびに健康に及ぼす影響)

(i) 常時アルバイト就労が学業に及ぼす影響についての学校の意見としては

- 特に影響はみられない。30.0%
- 学業に身が入らぬ。14.4%
- 居ねむりする者がある。13.7%
- 遅刻がみられる(早退)。9.4%
- 家庭の学習の時間はけづられる。5.6%

となっており、つぎに、

(ii) 夏期アルバイトの学業への影響としては、一番多いのは

- 直接には感じられない。38.7% ついで、
- 学校の行事への参加がきまげられる。5%
- 夏休みの勉強に支障をきたす懸念がある。5%
- 金の使途について心配している。4.4%

(iii) 常時アルバイトの就労の健康への影響としては次のようなものがみられる。

- 特にないとのべたものは学校の58.6%にのぼる。
- 疲労が目立つ。14.4%
- 睡眠不足が目立つ。(放長期の生徒に特に影響があると思われる) 13.7%
- 過労 4.4%

(iv) 夏期アルバイトの就労の健康への影響としては、次のようなものがみられる。

- 疲労が重なる。8.1%
- 健康によい場合もある。2.5%

10 アルバイト就労の人格形成に及ぼす影響と学校の対策

(i) 常時アルバイト(事例)

常時アルバイト生徒にとってその就労の人格形成に及ぼす影響についてみると事例の主なものは次のとおりである。

- 金づかいが荒くなり、金銭の価値についての考え方がよくなった。 22例
- 好ましくない交友関係が生じ、行動、服装がみだれる。 12例
- 映画館の出入りや喫煙がみられるようになった。 11例
- 年令不相応のことをおぼえる。 8例
- 生活態度がわるくなる(言葉づかいなど)。 8例
- 窃盗をおぼえ悪いグループ活動がおこなわれる。 6例
- 非行とは行かなくとも欠席するものが多く、集団の喧嘩等みられる。 6例

(ii) 夏期アルバイト(事例)

夏期アルバイトの人格形成に及ぼす影響として学校の報告している事例としては次のようなものが目立つ。

- 生活態度が悪くなる。 5例
- 大人が年少者にワイ談を聞かせる。 4例
- 浪費癖の子供ができる。 3例
- 勤労の尊さがわかるようになった。 3例

つぎにこれらの事例に対して取っている学校の対策としては、次のようなことが目立つ。

(i) 常時アルバイトに対する対策

- 本人に訓戒、指導、個別指導などの方法により注意をあたえている。 25例
- 担当教師による校外指導を行なっている。 21例
- 特定の職場については就労を中止させた。 11例
- 事業主との連絡をとり労働時間を守る、宿泊はさせない等の指導をしている。 9例
- 家庭に連絡して金銭の使途について注意を向けるように指導している。 8例

(ii) 夏期アルバイトに対する対策

- 勤労の尊さを理解させるように指導する。 3例
- 個別指導を行なう。 3例
- 就労を全面的に禁止している。 2例
- あまりひどい事業所には就労させないようにしている。 2例

11 アルバイト就労による災害・疾病

調査対象となつた160校中就労による災害、疾病があると答えたのは30校となつており、その件数は合計63件と報告されている。これ等のものについて災害疾病の程度をみると、一番多いのは職場を休まないで済んだもので43件となつているが、一方死亡したのも1件、休業8日以上が1件、休業1～7日のもの4件となつている。

さらにこれら災害の部位については、一番目立つのは上肢が20件、下肢のものが19件、全身が1件、腹部1件、胸部1件、頭部3件がみられる。

12 医療費の負担と傷害の程度

医療費の負担の程度は使用者のものが一番多くて22件、ついて本人負担のものは13件、これについて使用者一部負担のものが7件となっており、傷害の程度と合せてみると、死亡のものは医療費の負担については不明となつてゐるが、休業8日以上では使用者負担のものが1件みられ、さらに休業1日～7日のもの4件のうち本人負担1件と、使用者負担2件となつてゐる。さらに休まずに済んだものでは、本人負担のものの割合はさらに高くなつておりほぼ38%、これについて使用者負担のものは37.2%となつてゐる。

13 アルバイト就労の学校教育全体に及ぼす影響およびその対策

(1) 常時アルバイト

学校教育全体にアルバイト就労があたえる影響をみると、影響があまりないと答えた中学校は100校にのぼるが一方次のような影響があると答えたものが目立つてゐる。

- アルバイト就労の者の生活が派手になるためその影響をうける。 10校
- 学習の雰囲気のみだすことになる。 6校
- 生徒の仲間生活が少なくなる。 4校
- 非行生徒が現われて、学級、学校活動について来られなくなるので、学校では非常にこまつてゐる。 3校

(2) 夏期アルバイト

夏期のアルバイト就労が学校教育全体にあたえる影響をみると、常時アルバイトと同様に影響はあまりないと答えた学校は82校とほぼ過半数となつてゐる。しかし、一方次のような影響があると答えているのがみられる。

- 生活が派手となり他の生徒への影響が心配される。 9校
- 夏の就労により、その後粗雑な言葉、服装などが学校生活に持ち込まれる例がある。 5校
- 友人を就労に誘うような傾向が多少みられる。 3校

以上のような影響について学校の取つてゐる対策をみると、特にないと述べたものも44校みられるが、次のことが目立つてゐる。

- 家庭訪問により父兄に対して指導助言を行なつてゐる。 21校
- 学級活動、校外指導、道徳教育のときにとりあげ、注意を徹底している。 18校
- 業者への申入れを行ない教育的な生徒の使用について要望し、連絡を密としている。 15校
- 原則的にはアルバイト就労を禁止している。 12校
- 生徒の個別指導にあたつてゐる。 10校

14 アルバイト就労について学校のとつてゐる態度

アルバイト就労については学校は賛成の態度をとるものと、反対の態度をとるものとがみられるが、その主な意見はつぎのとおりである。

(1) 賛成の意見

- 労働の尊さを知ることができる。 4校
- 学校でも新商品配達少年を激励している。 2校

- 現在の就労者に対してははげましと指導をしている。 2校
- 就職希望の生徒には、職業指導の実習として夏休み就労をさせている。 2校

(2) 反対の意見

- 止むを得ないもののみ認めている。 12校
- 学業にさしつかえるので反対である。 9校
- 必要もないのにアルバイトをするのは良くない考えるので就労には反対である。 7校
- 使用者側の営利主義の前に、未完成の生徒の就労は少年に良い影響はあたえられないと考える。 7校
- 金を使うようこびだけで就労するので不良化が心配される。 7校
- 原則としては禁止している。 6校

一方、以上のはかどちらとも言えぬという学校も79校みられる。

さらに学校当局のアルバイト就労に関するその他の意見、態度としては次のようなことが目立っている。

- 進路指導上の啓発的経験としての職業実習は、アルバイト就労ではなく学校として別に計画すべきものと考えられる。
- 学校としては事業主に任意できないので、監督者と事業主と学校の会合を企画してくれるとよいと思う。(役所で)

Ⅱ 個人調査結果

1 アルバイト就労生徒数の構成

調査対象となつた学校における生徒総数に対するアルバイト中学生徒数の割合を総計でみると3.3%となつている。さらに、農、商、工、6大都市別では各々、2.0%、0.9%、1.3%、4.3%で6大都市のアルバイト生徒の割合が目立つて高いのが知られる。なお、各都市別のアルバイト生徒数は、6大都市が87.1%と一番多く、工業都市6.5%、商業都市3.3%、農業都市2.9%がこれについている。また男女別では男子が6.2%以上となつて過半数を占めているのがみられる。

一方学年別では各地域別とも14才が一番多く総計で4.22%、つぎが13才の2.69%、15才では2.42%となつている。また、さらに学年別では1年よりは2年、3年と学年が進むにつれてアルバイト生徒数の割合は高く、2年、3年の合計が各地域ともアルバイト生徒の7.8%以上となつている。

学年別の総生徒数に占めるアルバイト生徒数の割合は1年が1.7%、2年が4.1%、3年は4.1%となつていて、アルバイト生徒は2年、3年に集中していることがわかる。

次に通勤・住込別アルバイト生徒数の割合をみると、殆んどが通勤(93.8%)で、住込(6.0%)はわずかである。

第1表 性別・通勤住込別アルバイト生徒数の割合

(%)

区分	項目	都市別	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
性別	計		1000(3.3)%	1000(2.0)	1000(0.9)	1000(1.3)	1000(4.3)
	男子		62.2(3.9)	62.4(2.5)	73.1(1.2)	63.8(1.5)	61.6(5.1)
	女子		37.8(2.7)	37.6(1.6)	26.9(0.5)	36.2(1.0)	38.4(3.5)
通勤住込別	計		1000	1000	1000	1000	1000
	通勤		938	93.9	91.3	93.1	93.9
	住込		60	6.1	8.7	6.9	5.9
	自家		0.2	—	—	—	0.2

注：()は調査対象学校生徒総数に対するアルバイト生徒数の割合

2 過去1年間に行なつたアルバイトの時期とその内容

昭和37年9月1日から昭和38年8月31日の間に就労したアルバイト中学生の就労時期をみると、常時行なつているものと、やすみのみ行なつているものの2つに大別される。

これを総計の割合でみると、常時が、2.2.6%、やすみ一時期のみ(このやすみは夏休み、春休み、冬休み等のうちのいずれかをさす)71.4%と殆んどこのどちらかに集まつており、さらに休みのみ1時期、2時期および3時期の就労のものを合計すると7.6%にのぼつている。

さらに商業都市では、常時51.9%、やすみ1時期のみ41.3%となつているが、農業、工業、6大都市ではやすみのみが各々75.0%、67.2%、72.8%と大部分がこれに集中している。

そのほか、休みはいつの休みでも(夏休み、春休み、冬休み)アルバイトをするものは商業都市で0.5%、工業都市では0.7%、6大都市では0.7%とわずかながらみられる。

(1) 地域別アルバイト内容および時期

イ 農業都市におけるアルバイトの内容および時期

まず農業都市では、①常時アルバイトをしている生徒数の割合は前述のとおり23.8%でつぎに全地域の常時アルバイト生徒の総数に占める割合をみると、農業都市では3.1%であるが、このなかでの主なアルバイトの内容は、牛乳配達が46.7%と一番多く、つぎにヤクルト配達15.5%の順になつてゐる。

②休みのみ(一時期)夏・冬・春休みのうち一時期にアルバイトに就労しているもので、その割合も75.0%と農業都市で一番多く、アルバイト内容も42種にものぼる。その主なものは、食料品店員、ホッパつみ、牛乳・ヤクルト配達、氷配達、西瓜の出荷手伝い等がみられる。また地域別の特徴としては、地引網・白魚とり、または加工等がみられる。

ロ 商業都市におけるアルバイトの内容および時期

つぎに商業都市をみると常時ではアルバイト職種は29種あり、牛乳配達(41.5%)が主なもので、その他ゴルフキャディー(0.7%)、魚屋、ヤクルト、八百屋の各配達(各々0.6%)がこれにつづき、他に商店等の手伝が多くみられる。

さらに休暇のみについては、内容は49種にのぼつてゐるが菓子店の店員(9.1%)、畑仕事の手伝い(6.9%)、魚の配達(5.7%)、アイスクリーム包装(4.5%)が主なもので、商業都市では、牛乳配達は比較的すくない(3.4%)。

ハ 工業都市におけるアルバイトの内容および時期

つぎに工業都市では常時アルバイトの職種は38種あるが、ここで主なものは牛乳配達(50.9%)、豆腐の販売(9.3%)がみられる。その他、麵類、氷、魚、米、寿司、酒店等の配達もわずかながらみられ、このほか豆腐の販売(9.3%)、電気料集金(2.8%)等が目立つてゐる。その他工業都市で休暇のみ一時期に就労している職種は89種で、その生徒数の割合は、氷の配達が一番多く(6.4%)一方工員(5.4%)、豆腐売り(4.0%)、鉄板、鉄骨の運搬(4.0%)、店の手伝、食料品の箱詰め(3.4%)、八百屋の店員(3.7%)等が主なものである。

またその割合は低いが次のような職種がみられる。その他皿洗い、家事手伝い、留守番、理容院手伝い、農家の手伝い、セメント塗り、オルゴールの部品製造、風呂焚き、ゴルフ球作り、子守り、歯ブラシの穴あけ等。

ニ 6大都市におけるアルバイトの内容および時期

つぎに6大都市の常時アルバイトの種類は185種におよんでいるが、主なものは、農業、商業、工業の各都市にもみられるように牛乳配達に多く就労しており、牛乳配達32.5%とその割合は高い。また他の都市では割合の低いゴルフキャディー(8.4%)が目立つてゐる。

さらに一般店員(5.0%)、酒屋の店員(2.7%)、八百屋の店員(2.6%)、食料品(2.5%)、米(餅つき)屋(2.4%)、そば屋(2.3%)の各店員がこれにつづいてゐる。

つぎに常時と休暇両方に就労している者は49種となつてゐるが、ここでも牛乳配達(19.5%)が主なもので、一般店員(9.2%)、ゴルフキャディー(7.4%)とこれにつづいてゐる。この他米屋、豆腐屋、魚屋、八百屋、氷屋、寿司屋、パン菓子店の店員及び配達に就労しているのがみられ店員は合計31.1%を占めてゐる。

6大都市において休暇一時期のみのアルバイト就労職種は55.5種にも及び、非常に広い職種

にアルバイトが行なわれている。

まず555種の職種のうち就労しているものの割合が最も高いのは、一般店員合計(19.7%)、各種配達員合計(12.6%)が目立ち、一般製造部門工員(6.1%)、荷物の運搬(3.0%)、飲食店員(2.7%)、牛乳配達(2.6%)、氷の配達(2.1%)、八百屋店員(1.7%)、物の包装工(1.6%)、玩具の製造組立(1.5%)、箱作り(1.5%)、ゴルフキャディー(1.5%)、等が目立っているが、その他1.4%~1.0%までの職種では、ラジオ・テレビ部品組立、雑役、食品の製造・びんづめ又は包装、プレス加工、食料品店員等である。その他539職種については0.9%~0.02%まで多種多様である。

一方休暇のみを2時期就労するものの職種数は97で、そのうち一番多く働いている職種は、店員合計(46.3%)、工員(7.8%)、食料品製造工(4.2%)、食堂店員(3.5%)、家事手伝い(3.7%)が主なものである。

またこの他、配達の種類も多く、酒屋、乾物屋、飲食店、化粧品店、果物店、魚屋、家具屋、玩具店、寿司屋、電気器具店、等でこれも割合は低いが幅広く分布している。

最後に、休暇はいつも働いているといつたものは46職種で、ここでも一般の店員合計(25%)として最も多く働いている。その他、玩具の箱詰(6.2%)で、血洗い、ゴルフキャディー、掃除夫、製品包装工、塗装工、ゴム手袋作り、工員、箱造りに3.4%程度みられる。

地域別・職種別のアルバイト生徒の割合は以上のようなものであるが、職種は殆んど重複しているものが多いので、これを常時とそれ以外のものとにわけて重複しない職種の種数を全地域については、常時では228職種、常時以外では668職種で、中学のアルバイト生徒の働いている職種は合せて896職種に就労しているのが知られる。

4 アルバイトの職種

地域別、アルバイトの職業

アルバイトの職業を次のように分類を定めて、①事務員、②販売員、③金属・電気機械器具製造・修理関係従事者、④建築・建設・木工・その他の作業従事者、⑤単純労働者、⑥運輸通信従事者、⑦農林漁業従事者、⑧その他とし、常時アルバイトをしているものをみると、販売員52.4%、その他が22.2%、建築・建設・木工・その他の作業従事者9.0%、単純労働者が4.6%、金属・電気機械器具製造・修理関係従事者は3.6%、つぎに農林漁業従事者0.7%、事務員0.3%、運輸通信従事者0.2%の順になつている。これを地域別に主なものをみると、農業都市では販売員が52.3%と目立っている。

また商業都市では販売員が31.4%、ついで農林漁業従事者が4.6%となつており、さらに工業都市、6大都市とも53.0%、63.0%と販売員として働いているものの割合が最も高く、建築・建設・木工・その他の作業従事者も工業、6大都市に6.1%および10.2%みられる。

また夏期休暇のみアルバイトをしているものの計の割合を職業別にみると、建築・建設・木工・その他の作業従事者33.0%、販売員29.6%、金属・電気機械器具製造・修理関係従事者13.4%、単純労働者11.0%、農林漁業従事者1.3%、事務員0.7%、運輸通信従事者0.6%の順になつている。

これをさらに地域別にみると農業都市では販売員が40.0%、農林漁業従事者が23.7%、建築・

建設・木工・その他の作業従事者18.8%であり、商業都市では販売員40.0%、建築・建設・木工・その他の作業従事者14.0%、農林漁業従事者13.0%とその割合はほぼ農業都市と似ている。また工業都市でも販売員は33.3%、建築・建設・木工・その他の作業従事者24.3%、単純労働者10.6%の順になつている。さらに6大都市では、建築・建設・木工・その他の作業従事者に34.5%、販売員に28.7%、単純労働者が11.4%となつていて、計でみた際の割合とはほぼ同様になつている。

5 仕事についてからの期間

38年6月1日から8月末日までの間に常時アルバイトをしているものが8月末日現在までにどのぐらいの期間アルバイトをしているかをみると、計では3ヶ月未満が36.0%と一番多く、6ヶ月未満が21.2%、1年未満が19.6%、2年未満は14.4%となつていて殆んどが、短い期間働いているのが多く目立つ。さらに4年以上連続でアルバイトをしているものは、1.5%とぐつとその割合が低い。

さらに地域別の割合でも、3ヶ月未満アルバイトするものが農業、商業、工業、6大都市においてそれぞれ、28.3%、29.6%、37.4%、36.7%と一番多く、つぎに6ヶ月未満のものは28.3%、16.7%、19.2%、21.6%となつている。また農業都市では2年以上～3年未満、3年以上～4年未満にはアルバイトをしているものはみあたらない。また他の商業、工業、6大都市においてもほとんどその割合は低いのがみうけられる。一般的にいつてアルバイトをしているものは、比較的短い期間就労しているように見うけられる。

6 勤務先の事業所の従業員数

常時では各地域とも1人から29人までの従業員のいる事業所に最も多く中学生がアルバイト就労している。これを1人～4人の従業員のいる事業所には、農業都市で37.0%、商業都市で41.6%、工業都市で39.1%、6大都市で35.6%の生徒が就労しており、また5人～9人の事業所には農業都市で39.2%、商業都市34.3%、工業都市33.1%、6大都市33.2%、さらに、10人～29人の事業所では農業都市23.8%、商業都市9.3%、工業都市18.5%、6大都市14.3%と、殆んどが小規模事業所または、零細規模事業所に就労しているのがみられる。

さらに一方、中規模事業所でアルバイトをしている生徒数の地域別割合は、従業員数100人～299人のところで、商業都市3.7%、工業都市0.7%、6大都市では2.9%就労している。さらに従業員1000人以上の大規模事業所では、6大都市にわづかに0.2%程度就労しているのがみられる。

つぎに夏期休暇についてみても、常時とはほぼ同様で、従業員数1人～29人の規模のところ各地域とも68.5%～80.4%と集中しているのが目立っている。

中規模事業所または大規模事業所では、アルバイト生徒は商・工・6大都市にわずかながらみられる程度である。

常時及び夏期休暇ともアルバイト生徒の地域別の割合は6大都市が一番多く80%以上で、その他工業都市で6～8%、商業、農業の各都市では2～8%である。

第2表 地域・勤め先の従業員数別アルバイト生徒の割合(%)

地域・従業員数別 アルバイト生徒数		計(%)	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
常時	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1～4人	36.3	37.0	41.6	39.1	35.6
	5～9人	33.4	39.2	34.3	33.1	33.2
	10～29人	14.5	23.8	9.3	18.5	14.3
	30～99人	3.0			4.3	3.2
	100～299人	2.7		3.7	0.7	2.9
	300～999人	0.3				0.3
	1000人以上	0.2				0.2
	わからない	0.6		11.1	4.3	10.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
夏期 休暇	1～4人	26.2	25.5	43.0	26.1	25.9
	5～9人	22.7	34.1	21.0	21.0	22.4
	10～29人	21.0	18.5	16.0	33.3	20.2
	30～99人	11.6	4.9	7.0	11.0	12.0
	100～299人	4.2	5.9	2.0	3.5	4.5
	300～999人	1.0	*		0.6	1.2
	1000人以上	0.8		1.0		0.5
	わからない	12.5	11.1	10.0	4.5	13.3

7 労働条件

(1) 雇用期間

8月中の地域別・労働日別に常時アルバイト就労生徒数の割合をみると、31日～25日のものは61.1%とほとんどで、24日～20日のものは11.8%、19日～15日のものは5.2%、14日～10日のものは5.6%、9日～5日3.5%、4日～1日が2.3%となつている。これを地域毎にみると農業都市では31日～25日が一番多く82.5%となつていて、商業、工業、6大都市でもそれぞれ、63.8%、65.1%、59.6%と殆んど常時就労しているのが目立つ。

第3表 地域労働日数別、常時・夏期アルバイト就労生徒の割合% (8月中)

地域・労働日別 アルバイト 生徒数		計		農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
八 月 中 の 雇 用 さ れ た 日 数	計	常 時	1000	1000	1000	1000	1000
		夏 期	1000	1000	1000	1000	1000
	31日～25日	常 時	61.1	82.5	63.8	65.1	59.6
		夏 期	20.8	19.3	21.0	23.8	20.6
	24日～20日	常 時	11.8	6.3	4.7	9.7	12.9
		夏 期	18.7	11.9	14.0	25.4	18.3
	19日～15日	常 時	5.2	—	2.8	2.6	5.8
		夏 期	16.6	17.7	11.0	14.8	16.8
	14日～10日	常 時	5.6	4.3	2.8	3.5	6.2
		夏 期	22.0	17.7	23.0	22.0	22.0
	9日～ 5日	常 時	3.5	2.3	0.9	5.2	3.6
		夏 期	15.3	31.1	26.6	10.3	14.9
	4日～ 1日	常 時	2.3	2.3	6.5	2.6	1.3
		夏 期	3.2	2.3	4.0	0.3	3.3
	不 明	常 時	10.9	2.3	18.5	11.3	10.6
		夏 期	3.4	—	1.0	3.4	4.1

また15日以上についてみると、農業、商業、工業、6大の各都市で88.8%、71.3%、77.4%、78.3%で、7割から8割の生徒が15日以上アルバイトに就労しているのがわかる。一方15日以下については農業都市で8.9%、商業都市で13.0%、工業都市で11.3%、6大都市でも11.1%程度である。

つぎに、アルバイトを8月中に毎日就労か、隔日就労か等についてみると、毎日就労するが78.8%と一番多く、随時気のむいた日が7.4%、随時たのまれた日が3.5%で、隔日が3.2%等となつている。

さらに地域別には、8月中に毎日アルバイトをした生徒の割合は、農業都市では87.0%、商業都市では74.0%、工業都市でも84.4%、6大都市においても78.3%と殆んどとなつている。また隔日にアルバイトをしているものは殆んどいないが、週に1日やつているものは、農業都市では4.3%、商業都市では9.3%、工業都市では2.6%、6大都市では1.0%となつている。その他

週に2日、3日、4日、または月に何回といったところは、ほとんど見受られず随時気のむいた日、及び随時たのまれた日にアルバイトにいくといったものの割合は比較的少ないが、農業都市で8.7%、商業都市で4.6%、工業都市で3.5%、6大都市で12.1%みられる。

つぎに、労働日数別の夏期アルバイト就労生徒数の割合をみると、常時アルバイト就労では、15日以上に集中していたが、夏期においては、31日～5日まで各段階にはほぼ平均して分布している。まず31日～25日のものが20.8%、24日～20日のもの18.7%、19日～15日のもの16.6%、14日～10日のもの22.0%、さらに9日～5日のもの15.3%、4日～1日のもの3.2%となつている。これを各地域別にみると、農業都市でも計の場合と同じであるが、9日～5日に31.1%が目立っている。その他商、工、6大都市においても計とはほぼ同様となつている。

つぎにアルバイトに毎日就労するかどうかについては、毎日のものが農業都市で72.6%、商業都市で75.0%、工業都市では89.0%、6大都市でも73.3%となつている。

また、随時気のむいた日に働くものが、農業都市では20.0%、商業都市では10.0%、工業都市では5.8%、6大都市では11.5%で、随時たのまれた日に働くものは、農業都市で7.4%、商業都市で9.0%、工業都市で2.8%、6大都市でも5.8%就労している。

(2) 労働時間

(1) 始業時刻別アルバイト就労生徒数

まず、常時アルバイトを行なっているもののうち、アルバイトを始める時間が最も早いのは午前5時以前であつて最も遅くからアルバイトを行なうものは午後8時30分である。このうち午前5時から6時未満にかけては、農業都市に47.9%、工業都市に38.3%、6大都市に23.4%が目立っている。

つぎに午前6時～7時未満に始業するものが多く、計では9.2%、農業都市23.9%、商業都市26.9%、工業都市10.4%、6大都市6.9%となつている。さらに目立つのは8時～9時未満のもので計では14.5%で工業都市では17.4%、6大都市が15.3%、商業都市6.5%、農業都市4.3%がみられる。

また午後に始業するものでは午後4時～5時未満のものが目立ち、計では9.3%で、農業都市2.2%、商業都市12.0%、工業都市2.6%、6大都市では10.0%みられる。

つぎに夏期の始業時刻をみると午前5時以前から午後7時30分までの広い範囲にわたっているが各都市ともに午前8時から9時未満が一番多く、農、商、工、6大都市で各々48.2%、45.0%、59.6%、58.7%となつていて、つぎに午前9時から10時未満が、商業、工業、6大都市で、14%、15.8%、15.9%である。ただ農業都市では午前7時から8時未満に始業するものが6.7%と目立っている。この夏期で一番早い始業は6大都市、工業都市、農業都市に午前5時以前からというものがみられ、一番遅い始業時刻で午後7時30分の6大都市にみられる。

つぎに常時アルバイトの終業時刻についてみると、最も早い終業時刻は午前6時でこれは農業都市となつている。また、最も遅い終業時刻は午後10時以後で6大都市に1.3%程度となつている。

さらに、終業時刻は午前7時から7時30分に集中しており、計では19.3%で、商業都市13.9%、工業都市24.3%、6大都市17.0%を示している。農業都市ではその他の都市とはこ

となり、午前6時30分から7時までに終業するものが24.0%となつてゐる。しかし6大都市においては午前中に終業するとともに多いが、一方午後6時から6時30分に終業するものも12.2%みられる。

つぎに夏期アルバイトの終業時刻についてみると、最も早い終業時刻は、午前6時で工業および6都市にみられる。また最も遅い終業時刻は、午後10時以後で、計では5.3%みられる。

夏期アルバイトにおいては午後5時から5時30分以前に終業するところが一番多く、農業都市26.7%、商業都市24.0%、工業都市40.5%、6大都市で45.5%となつてゐる。

つぎに多いのが午後6時から6時30分(10.5%~17.0%)で、各地域ともそれについてゐる。

(二) 実労働時間別のアルバイト生徒数

まず常時アルバイトをみると、最も少い実労働時間は30分となつてゐるが、長いものでは、実労働時間が8時間以上までみられるのが注目される。また実労働時間を8時間未満と8時間以上にわけて地域別にみると農業都市では8時間未満が95.7%で、商業都市では69.4%、工業都市では79.2%、6大都市でも73.2%となつてゐる。

つぎに地域別に何時間が一番多いかについてみると、農業都市では1時間から1時間29分が39.2%、商業都市でも19.3%と最も多くなつてゐる。また工業都市では1時間30分から1時間59分が23.6%と一番多く、6大都市でも2時間から2時間59分が14.9%と一番多くなつてゐる。しかし計では、実労働が7時間30分以上(22.3%)がみられる。

さらに夏期アルバイトの実労働時間についてみると、最も短い実労働時間では常時と同じく30分で、最も長いのは9時間以上となつてゐる。

いま、8時間未満と8時間以上の割合を、地域別にみると、農業都市の8時間未満のものは56.5%、商業都市では44.0%、工業都市では33.1%、6大都市では48.3%と夏期アルバイトは学校が休みということもあつて、労働時間が長くなつてゐる傾向が目立つてゐる。

また各地域とも実労働8時間から8時間29分というのが最も多い割合を示し、農業都市は17.7%、商業都市は21.0%、工業都市では35.9%、6大都市ではアルバイト生徒の31.3%となつてゐる。最も短いものでは59分未満が、農業都市に1.5%、6大都市に0.1%みられる。また最も長い時間では、9時30分以上が、6計で10.6%、程度あることが知られる。

(三) 休日回数(制限として)

アルバイトに対する休日が制限としてあるかないかについてみると、「休日はない」というのが6大都市を除く、農業都市(77.5%)、商業都市(61.2%)、工業都市(61.9%)とその割合は過半数を占めてゐる。しかし6大都市では29.6%とかなり低い割合を示している。ただしアルバイト生徒がパート・タイムで行なうような職種に就労しているものも相当あることを考慮する必要がある。

では月に何回休みがあるかについてみると、農業都市では月2回が12.5%と休日がないについて多く、商業都市では月1回が20.0%、工業都市15.5%、6大都市22.0%と休日はないについて多く6大都市では週休が21.8%もあることが目立つてゐる。

つぎに夏期についてみると、農業都市では「休日はない」が55.1%あるのに対し、商業都市22.0%、工業都市17.1%、6大都市16.8%で、常時とは異なつてゐる。これに反し「週休がある」とするものは、商業都市に24.0%、工業都市で41.9%、6大都市では47.9%となつてゐる。農業都市だけは、20.4%となつてゐる。その他、月2回というのが若干みられる程度である。

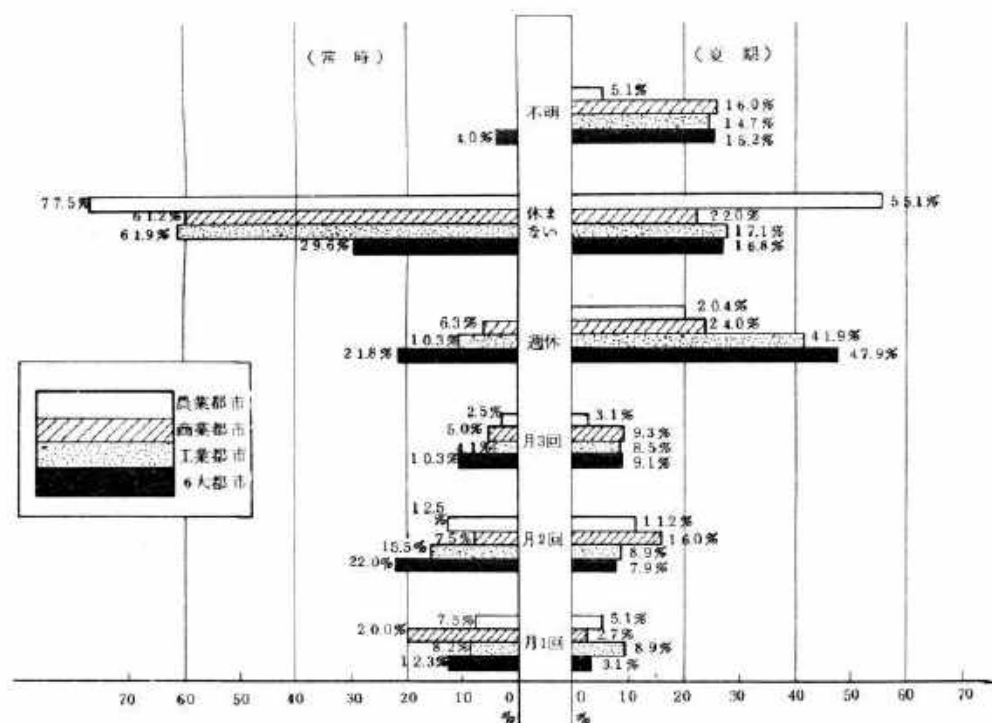
(4) 賃金の形態

常時アルバイトのものの賃金形態をみると月給制のものが一番多く53.4%、つぎに日給制のもの27.7%、時間給制のもの8.9%、出来高払制3.6%、連給制2.5%の順になつている。また注目されるのは賃金を貰つていないが1.1%あることである。また地域別にみても月給制が過半数を占め、これについて日給制の順となつている。

また夏期における賃金形態をみると、日給制が一番多く64.9%を占め、つぎに月給制20.2%、時間給制7.0%、連給制3.7%、出来高払1.5%の順になつている。夏期においても「賃金をもらっていない」ものが9.9%みられる。また地域別にみても日給のものは農業都市に73.3%、商業都市に59.0%、工業都市に71.1%、6大都市に64.2%と過半数を占めている。さらに、農業都市では日給制について出来高払のものが多くみられる。

賃金を貰っていないというアルバイト生徒が常時に商業都市で0.9%、工業都市1.7%、6大都市で1.1%、また夏期アルバイトでは農業都市に1.5%、6大都市に1.0%と割合は低いが見られる。

第1図 地域・休日回数別アルバイト生徒数の割合(%)
(制度として)



つぎに賃金を貰っていないと答えたものについてみるとその殆んどが、6大都市でその他商業都市となつている。さらに、その理由と職種をみると、次のとおりである。

- ◎ 親せき家で働いたので品物(自動車・みかん もも ジュースの仕詰)を貰つた。自動車の修理、子守り
 - ◎ 工場が待つてくれというので、アイロン台製造、
 - ◎ 賃金は親が貰つて自分は親から小遣いとして貰つてゐる。八百屋、喫茶店の出前と集金、
 - ◎ 1日しか働らかなかつたので邪まきさいので貰わなかつた。デパートの配達
 - ◎ たつた10日なので賃金は貰えなかつた。牛乳配達
 - たのしみにしているからお小遣いだけ貰うことにしている。あわび採り
 - 親せき家で働らいたから。果物運び
 - ブラウスとブリーツスカートを貰いその他30円貰つた。雑貨屋の手伝い、
- 等がみられる。

(5) 賃金のもらい方

(1) 賃金のもらい方別アルバイト生徒数

賃金のもらい方をみると、「期間のおわりに」もらうものが38.6%と一番多く、「1月分まとめて」36.8%とこれについている。

つぎに地域別にみると、「1月分まとめて」貰うというものが、商業都市で47.9%、工業都市で42.6%、また、「期間のおわりに」貰うものが農業都市で51.3%、6大都市で38.9%と高い割合を示している。その他賃金を貰っていないと答えたものが商業都市で5.8%、工業都市では0.7%、6大都市でも0.7%とわずかにみられる。

(2) アルバイト生徒の時間給金額

アルバイト生徒が時間給ではいくらもらつてゐるかにについてみると、1時間あたり10円以下というのはみあたらないが、最低額10円というのが0.4%、一方最高額は、100円以上が2.6%(150円)となつてゐる。また一番多い金額は30円から39円で計では33.3%、これについて40円から49円が28.2%、50円から59円が24.1%の順になつてゐる。

第4表 地域・アルバイト時間給別生徒数の割合

%

地域・アルバイト時間給別・生徒数	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
計	1000	1000	1000	1000	1000
最低額	10円	30円	18円	20円	10円
10～19円	0.4	—	14.3	—	0.2
20～29	4.3	—	57.1	14.3	3.3
30～39	33.3	50.0	—	14.3	34.1
40～49	28.2	—	14.3	42.8	28.4
50～59	24.1	50.0	—	14.3	24.5
60～69	4.3	—	—	14.3	4.2
70～79	1.3	—	14.3	—	1.1
80～89	1.1	—	—	—	1.1
90～99	0.4	—	—	—	0.4
100円以上	2.6	—	—	—	2.7
最高額	150円	50円	70円	60円	150円

つぎに地域別にみると6大都市ほど賃金の幅があり、最低額10円から最高額150円までとなっている。農業都市では30～39円および50円～59円が50.0%、商業都市は20円～29円が57.1%、工業都市では40円～49円が42.8%、6大都市は30円～39円の34.1%とその割合は一番多くなっている。

さらに、職種別即ち「事務員」「販売員」「金属・電気機械器具製造・修理関係従事者」「建築・建設・木工その他の作業従事者」「単純労働者」「運輸通信従事者」「農林・漁業従事者」「その他」にわけているがそのなかで最も低い額は「販売員」の29円で、最も高い額は「単純労働者」の150円である。

4) アルバイト生徒の日給金額

アルバイト生徒が日給でいくら貰っているかをみると、最も低い金額は29円で、商業都市にみられ、最も高い日給額は6大都市の1500円となつている。

これを日給別、地域別にみると、100～199円では商業都市で37.6%、ついで農業都市31.4%が目立ち、200～299円のは農業都市43.8%、工業都市36.4%となつており、300～399円が44.8%と一番多くみられる。

さらに一方、地域別、職種別にみると、各職種とも300～399円が一番多いが、農林・漁業従事者では100～299円に多いのが目立っている。

また最も低い金額では販売員の29円、最も高い金額は同じく販売員の1500円である。つぎに地域別にみると農業都市では、日給額の最低、40円から最高は800円にわたっている。さらに、商業都市は29円から500円、工業都市は40円から650円、6大都市では30円から1500円となつている。

表5表 地域・アルバイト日給別生徒数の割合 (%)

地域 アルバイト日給別生徒数	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
計	1000	1000	1000	1000	1000
最低額	29円	30円	29円	40円	30円
30円以下	0.0	—	1.3	—	—
30～49	0.2	1.8	—	0.8	0.2
50～99	1.4	4.8	6.5	5.1	0.9
100～199	9.4	31.4	37.6	16.5	7.4
200～299	23.1	43.8	36.4	36.4	21.0
300～399	42.1	17.2	11.7	28.0	44.8
400～499	16.1	—	5.2	8.5	17.5
500～599	5.7	—	1.3	3.0	6.2
600～699	1.0	—	—	1.7	1.0
700～799	0.6	—	—	—	0.6
800～899	0.3	1.0	—	—	0.3
900～999	0.0	—	—	—	0.0
1000円以上	0.1	—	—	—	0.1
最高額	1500円	800円	500円	650円	1500円

農業都市では、事務員、販売員、金属・電気機械器具製造・修理関係従事者・建築・建設・木工・その他の作業従事者等で1000～2999円が50.0%以上を示している。これは商業、工業の都市でもほぼ同様であるが、6大都市では3000～3999円と高くなり過半数がこの金額に集中している。

ロ アルバイト生徒の週給金額

アルバイトで賃金を週給として貰っているものについてみると、最低額は200円、最高額は4000円となつてゐる。農業都市では、500円以下が3人で、商業都市では500～999円が目立ち、1500～1999円の28.5%がこれについてゐる。工業都市では1000～1999円が57.1%を示しており、6大都市においては1500～2499円が49.2%となつてゐる。各地域とも週給制でアルバイトをさせている事業所は生徒数からみても少ないのがみられる。

表6表 地域、週給、金額別アルバイト生徒数の割合 %

地域・週給別 アルバイト生徒数	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
計	1000	1000	1000	1000	1000
最低額	200円	200円	350円	700円	200円
500円未満	51	1000	143	—	36
500～999	117	—	429	143	107
1000～1499	173	—	143	286	173
1500～1999	262	—	285	285	264
2000～2499	215	—	—	143	228
2500～2999	98	—	—	143	101
3000～3499	47	—	—	—	51
3500～3999	14	—	—	—	15
4000～4499	23	—	—	—	25
最高額	4000円	300円	1750円	2500円	4000円

各都市とも最低額はさほど変化はみられないが、最高額は農業都市で300円、商業、工業、6大都市では1750円、2500円、4000円と格差が著しくなつてゐる。

ハ アルバイト生徒の月給金額およびアルバイト就労日数

月給金額は3000円から3999円が19.9%と最も多く、2000円から2999円が14%とこれについてゐる。1000円以下は3.3%で13000円以上は1.4%みられるが、この13000円以上のなかには、26～30日就労して貰うものと、21～25日、16～20日および11～15日就労して貰うものが含まれてゐる。さらに、就労日別にみると、26～30日の就労のものでは3000～3999円が23.6%と一番多く、21～25日就労のものでは7000～7999円のものが13.6%となつてゐる。

一方、6～10日就労して1000～1999円のものは21.8%、1～5日就労し1000～1999円のもの51.9%と最も多いが。

また、賃金なしが6～10日および1～5日就労のもの等に若干みられる。

つぎに地域別では、農業都市においては、ほとんどが26～30日のアルバイト就労である。

そのうちで1000～2999円が、70.5%で過半数を占めており、そのほか、8000～8999円が2.3%とわずかであるがみられる。

商業都市では16～30日に集中しており、金額高も3000～3999円である。16～20日に66.6%と割合が高くなっている。また、11～15日のもの66.7%、6～10日のもの44.5%、1～5日のものが75.0%と、6～10日を除いては1000～1999円のところに集中している。また、21～30日就労するもののなかには10000～14999円収入のものが少数ながらみられる。

さらに工業都市では、26～30日アルバイト就労をして2000～3999円の収入を得ているものは52.1%、21～25日の就労のものが7000～7999円で30.0%、16～20日の就労のものでは6000～7999円に58.8%、11～15日および6～10日が1000～2999円に、それぞれ55.6%、75.0%みられる。

6大都市ではアルバイトをしているものが多いこともあつて就労日別、金額別ともに幅広い範囲に分布している。

即ち26～30日就労して1000円以下のアルバイト生徒もいるのに対し、11～15日就労して13000円以上の収入を得ているものもある。アルバイト生徒数の多い割合からみると26～30日就労して3000～3999円の収入があるものが24.0%と最も多くなっている。

8 賃金の使途等

(1) 賃金の使途

常時アルバイトに就労している生徒について賃金を家人にみせるか否かをみると、「みせる」ものは95.7%と大部分を占め、「みせない」「不明」あわせて4.3%となつている。つぎに賃金の使途は、「家に全部出し、改めて小遣をもらう」ものが一番多くみられ、32.5%、ついで「一部分を家に出す」ものが25.7%、三番目は、「家には出さない」と答えたもので20.2%を示している。しかし、前にのべたようにアルバイト生徒の56%を占めている日給のものうち、その42.1%にあたる300～399円のもの、その月額(月25日労働として)が7500～10000円であるのと合せ考えると、「家に賃金を出さない」ものが2割以上みられることは、年少者の年令、特質から考えて問題として良いのではないと思われる。しかし一方何らかの形で賃金の一部又は全部を家に出しているものは75.8%にのぼり家庭の生活程度(個人環境調査)が「やや貧困」又は「貧困」のものが37.3%であるといつた結果と考え合せると、一応アルバイト生徒の賃金に対する家人の管理もある程度行なわれているものといえよう。

さらに夏期アルバイト生徒についてみると、賃金を「家人にみせる」ものは97.5%で常時アルバイトと同様に高い率を示している。

また賃金の使途は「一部分を家に出す」ものが26.7%と一番割合は高く、常時アルバイトと同様であり、ついで「家に全部出し、改めて小遣をもらうもの」が25.5%で常時アルバイトをや下まわり、「家には出さない」ものは21.3%を示している。さらに夏期アルバイトについて地域別にみて目立つのは商業都市において「家には出さない」ものが3.9%にのぼり、常時アルバイトの商業都市のもの(22.4%)よりさらに大きな割合を示していることである。

(2) 家に入れる金額

つぎに家に入れる金額についてみると、常時アルバイト生徒では最低100円から最高20,000

円までその巾は非常に広く、一番多くみられるのは1,000円～1,200円未満のもので22%、ついで2,000円～2,500円未満の金額を家に入れているものが16.7%みられる。つぎに夏期アルバイト生徒の家にを入れる金額をみると、最低100円から1,500円までとなつてはいるが、その割合の高いのは1,000円～1,200円のもので18.0%、ついで2,000円～2,500円以下が16.8%となつてはいる。

(3) 貯金額

さらに、アルバイト生徒の貯金額についてみると、常時アルバイト生徒では最低100円から最高2,000円まで非常にその巾は広く、一番多いのは1,000円～1,499円のもので貯金しているものの28.5%となつており、3,000円未満の貯金のもものは、貯金しているものの78%を占めている。

つぎに夏期アルバイト生徒の貯金についてみると、貯金している生徒数は常時アルバイト生徒の2.6倍にのぼつてはいるが、その貯金額は最低100円から最高1,500円までとなつてはいる。最も多いのは1,000円～1,499円のもので、貯金していると答えたもののうち24.0%となつてはいる。さらに2,999円までの貯金額のものの合計は貯金しているものの69.1%で、常時アルバイトの生徒よりもその割合は少なく、貯金額の高いものの割合が多くなつてはいる。

9 仕事の世話

アルバイトの仕事を世話してくれたのは誰であるかについて記入をもとめたが、合計では「友達」と答えたものが一番多くて26.8%、つぎには「家族」が多く、23.3%、つづいて「知人」19.4%、「自分でさがした」16.8%、の順となつており、「職業安定所」0.4%が最も少ない。

次に地域別に世話してくれた人を見ると、アルバイト生徒数の一番多い6大都市では、「友達」の世話がやはり一番多く、27.6%となつており、また商業都市では22.6%が「友達」の世話によつて仕事についてはいる。一方工業都市では「家族」の世話により就労するものが多く24.2%となつてはいる。さらに農業都市で一番多くみられるのは「知人」の世話によるもので24.3%にのぼつてはいる。

以上から各地域ともに最低18.8%から最高27.6%のものが「友達」によつてアルバイトの仕事についており、仕事の業種によつては年少者の健康および福祉に有害な場合も考えられるので、年少者の仕事の選択についてはより慎重な配慮が関係者にこそまれる。

10 仕事を始めた理由

(1) 常時アルバイトについて

なぜ仕事を始めたかについては、常時アルバイトに従事しているものでは「こずかいを得るため」と答えたものが34.3%で、これについて「買いたいものがあるため」30.2%「貯金をするため」27.3%、の順となつてはいるが、しかし「家のくらしを助けるため」と答えたもの18.2%にのぼつてはいる。

この常時アルバイトのものの理由をさらに地域別にみると6大都市では、一番目立つのは「こずかいを得るため」と答えたもので、34.7%、ついで「買いたいものがあるため」が30.1%あるが、一方「家のくらしを助けるため」18.8%、「学校の費用を得るため」が13.5%みられ、比較的切実な理由によるものが合計32.3%みられる。また工業都市では「貯金をするため」と

答えたものが一番多く38.3%、ついで「買いたいものがあるため」と答えたものが27.0%、「こづかいを得るため」25.2%みられるが、一方「家のくらしを助けるため」が18.3%、「学校の費用を得るため」が13.0%となつている。

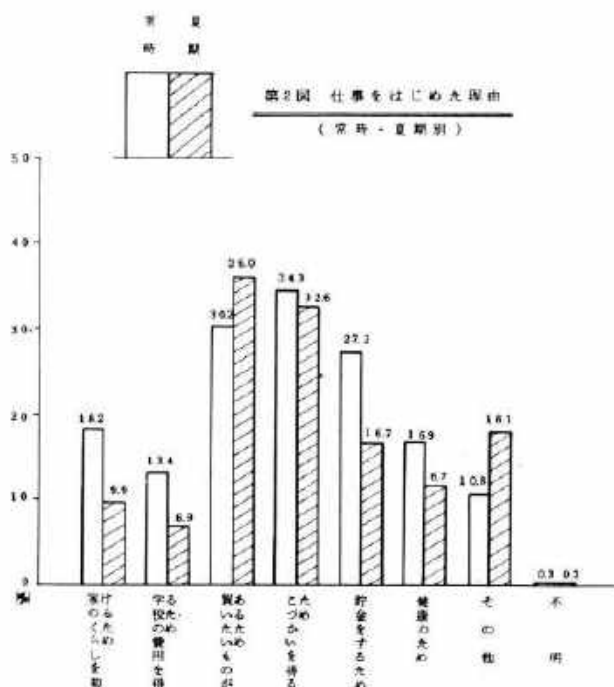
さらに、商業都市では「こづかいを得るため」と答えたものが一番多くて39.8%にのぼつているが、これについて、「買いたいものがあるため」が30.6%「貯金をするため」と答えたものは25.9%みられ、一方「家のくらしを助けるため」10.2%「学校の費用を得るため」が15.7%となつている。

つぎに農業都市の常時アルバイトのものの理由をみると、一番多いのは「買いたいものがあるため」41.3%、ついで「こづかいを得るため」34.8%で一方「家のくらしを助けるため」および「貯金をするため」が19.6%となつている。

(2) 夏期アルバイトについて

夏期アルバイトに就労しているものについて仕事をはじめた理由をみると、常時アルバイトの場合とはことなり、「買いたいものがあるため」が一番多くて36.0%、「こづかいを得るため」が32.6%、「貯金をするため」16.7%の順となつている。さらに「家のくらしを助けるため」9.9%、「学校の費用を得るため」6.9%と答えたものも常時アルバイトの生徒よりもその割合が目立つて低くなつている。(第2図参照)

つぎに、夏期アルバイトについて地域別にみると、6大都市、工業都市、商業都市とも計と同様に「買いたいものがあるため」アルバイトに就労しているものが一番多くみられ、36.0%、39.9%、および33.0%となつているが、農業都市では「こづかいを得るため」が40.0%と最も多くなつている。



11 両親又は保護者は就労を知っているか。否か。

常時アルバイトのものについて生徒の就労を両親又は保護者が知っているか否かをみると、大部分がその就労を「知っている」（98.7%）と答え、「知らない」と答えたものは0.5%と合わせて少ない。

また、以上のことを地域別にみると、両親が「知っている」と答えたものは6大都市では98.4%、工業都市では98.1%、商業都市、農業都市では常時アルバイト就労の両親又は保護者は100%、その就労を「知っている」と答えている。

さらに常時アルバイトのものについて、先生に相談したかどうかを聞いたが、「先生に相談しない」と答えたものは72.3%で、一方「先生に相談した」ものは25.9%となつている。さらに「相談」について地域別にみると、「先生に相談した」ものの割合は6大都市では27.6%であるが、工業都市では23.5%、また農業都市および商業都市では15.2%および14.8%と目立って少なくなつてゐる。

つぎに夏期アルバイトのものについて、アルバイト就労を父兄が知っているか否かをみると、「知っている」と答えたものは98.6%で、ほぼ常時アルバイトのものと同様で、また地域別にみても差はほとんどないのが知られる。

さらに夏期アルバイトのものについて、先生に相談したかどうかを聞いたが、「先生に相談しない」ものは計では72.4%、「先生に相談した」ものは26.2%で、この結果も常時アルバイトとはほぼ同様である。また「先生に相談した」ものの割合は、地域別にややことなつた結果を示し、工業都市では「相談した」ものの割合は51.2%とほぼ過半数となつており、これについて、農業都市では相談したものの割合が比較的高く、28.1%、さらに6大都市では24.6%で、一方商業都市では18.0%と低い。

12 アルバイト就労の感想

(1) 常時アルバイトについて

常時アルバイト就労のもののアルバイト就労の感想（良かったこと）についてみると、「金が多つて良かった。いろいろなものが買えた。又貯金が出来た」が一番多くて70.9%と、感想について答えたものの7割を占め、ついで、「朝早く規則正しく起されたので健康に良いと思つた」（38.0%）ものがこれにつぎ、「金を得ることは大変な労働であることがわかつた」（32.9%）、「体が丈夫になつた」（29.3%）、「社会の事などよくわかつた。良い経験になつた」（21.6%）、等が目立ち、また「主人・店の人が親切でよかつた」（15.9%）、「たのしかつた。仕事に自信をもつた」（10.3%）がこれにつぎ、さらに少数ではあるが、「労働している人達の気心がわかつた」（3.6%）「就職時に役立つと思つた」（5.7%）等の感想もみられた。

次に、アルバイト就労の感想を地域別にみると、一番多い「金が多つて良かった。いろいろなものが買えた。貯金が出来た」と答えたものでは、地域による差が大きくみられる。即ち、6大都市では以上の答えは86.6%、商業都市では56.6%、農業都市では54.3%、工業都市では31.3%と、6大都市に特に目立っている。

また、「朝早く規則正しく起されたので健康に良いと思つた」と答えたものもまた地域による差異

が目立ち、6大都市では44.4%であるが、工業都市では39.8%、農業都市では22.9%、商業都市では18.1%となつている。なお6大都市では以上のほか、「金を得ることは大変な労働であることがわかつた」と答えるものが51.6%と過半数を占めているが、その他の地域ではいずれも3.6%以下となつている。この結果から、6大都市における中学生の常時アルバイトが、年少者の心身に相当の強さで影響をあたえていることが推測される。また6大都市では「体が丈夫になつた」と答えているものが42.9%みられるが、一方その他の地域ではこの答えは目立つて少なく、商業都市では14.5%、農業都市8.6%、また工業都市にはまったくみられなかつた。

つぎに常時アルバイトに従事しているものの就労の感想のうち、困つたこと、いやだと思つたことについてみると、計では回答したものは59.5%にのぼつているが、その主なものを上げると次のようである。

一番多い困つたこと、いやだと思つたこととしては、「ねむい」が21.2%あり、これについて「雨がふるとぬれて風邪で学校を休むこと」が19.9%、「配達先で犬やいやみをいわれて困ることがある」が9.8%、「つかれのため勉強ができない」が9.3%みられ、一方少数ではあるが、「焼りがおそい」が1.1%、「先輩があまりやさしくない。ときつかわれる」が2.3%、等が問題を提起しているように思われる。

さらにこの就労の感想を地域別にみると、「ねむい」と答えたものは地域により差異が大きく、6大都市では22.5%、工業都市では19.7%であるがその他の地域では低く、農業都市16.7%、商業都市では13.6%となつている。また「配達先で困ることがある」(犬やいやみなどをいわれる)ものは農業都市では16.7%みられるが、商業都市では14.8%、工業都市10.6%、6大都市8.8%の順にみられ、これらの数字から、地域によるアルバイトに対する理解と、大人の態度の一端をうかがうことが出来るように思われる。

(c) 夏期アルバイト

夏期アルバイトに就労した生徒の感想のうち、良かったと答えたものは7.6%にのぼるが、その内訳をみると、「金がたまつて良かった。いろいろのものが買えた。貯金が出来た」という答えが一番多く38.3%、ついで「社会の事など良くわかつた。良い経験が出来た」15.0%、「主人・店の人親切でよかった」14.0%「たのしかつた。仕事に自信をもつた」8.0%の順にみられ、また割合は低い「労働している人達の気心がわかつた」2.1%、「少しでも母を経済的に助ける事が出来て良かった」3.0%、「自分の力をためすことが出来、ためになつた」3.2%、「就職時に役立つと思つた」4.1%、等がみられる。

さらにこの感想を地域別にみると、一番多い「金がたまつて良かった。いろいろのものが買えた。貯金が出来た」といつたものは、農業都市では38.3%、ついで6大都市では38.8%、商業都市では37.2%、一番少ないのは工業都市で27.6%となつている。

また、感想のうち、困つたこと、いやだと思つたことについて答えたものは51.5%であるが、その内訳をみると、「足、腰、肩が痛かつた」が29.0%、「勉強がつかれのためできない」16.6%、「使用者から文句やいじわるをいわれる」10.9%等が目立ち、さらに少数ではあるが、常時アルバイトの場合と同様に「アルバイト生徒と前から働いている人と差別待遇されるとき」が1.0%、「やすみ時間が少ない」1.4%、「仕事がつらい」が2.4%、「やるべき事をしたのにそれ以外の事をさせる」3.2%などがみられる。

13 アルバイト就労による怪我など

調査対象の生徒のうちアルバイト就労による怪我をしたことが「ある」と答えたのは8.5%で、「ない」と答えたのが大部分の91.5%を占めている。「ある」と答えたもののうち、「休まずに済んだ」ものが多くみられ68.6%であるが、「1日～7日休んだ」と答えたものは22.4%となつている。またその医療費の支払がどうなつているかを見ると、「自分の家で支払った」ものが18.5%、「雇い主が全部払った」ものが17.1%、また、「雇い主が一部、あとは自分の家で払った」ものも3.6%みられる。

つぎにアルバイト就労による怪我を地域別にみると、怪我したことが「ある」と答えたものが目立つのは商業都市で14.9%、つぎには6大都市に8.5%みられ、工業都市および商業都市は6.7%および6.6%と低い。怪我したことが「ある」と答えたものについてそのための休業日数をみると、1日～7日休んだものが一番多いのは農業都市で25.0%、ついで6大都市で23.2%、さらに工業都市18.5%、商業都市12.9%の順となつている。また医療費の支払について見ると、「自分の家で払った」ものが一番多いが、地域別では農業都市でその割合が最も高く41.7%、ついで6大都市では18.9%、商業都市では12.9%、工業都市では7.4%となつている。

14 アルバイトをしていて勉強上困ること

アルバイトに就労していて勉強上困ることが「ある」ものは27.5%で、あとの72.5%は困ることが「ない」と答えている。いま「ある」と答えたものを100として困ることを事項別にみると、常時アルバイトに従事しているものでは、一番多いのは「勉強する時間がなくてこまる」ものが35.2%、「授業中ねむかつた」が33.7%で、「授業中ねむかつた」とのべたものは、農業都市に一番多く37.5%、ついで6大都市に36.4%、商業都市32.5%で、工業都市では少なく6.3%と低いのが目立つている。また少数ながら「勉強するのがいやになる」9.8%がみられる。

つぎに夏期アルバイトのものの勉強上困ることをみると、「宿題が出来ない」という答えが一番多く57.6%、ついで「疲れてねむくて困った」が39.9%となつている。「宿題が出来ない」と答えたものは農業都市にその割合が高く77.3%、これについて工業都市では7.6%、さらに6大都市では5.62%、商業都市では3.48%の順となつている。また割合は低いが問題となり得る意見としては、「勉強するのがいやになる」1.9%、が目立つ。

15 アルバイト就労生徒の希望

常時アルバイトに就労しているものの希望にはつぎのようなものがある。

一番多いのは「賃金をあげてほしい」とのべたもので希望をのべたものは59.7%、ついで休日がないので「休日がほしい」とのべているものは11.9%が目立つ。また地域別では以上のほか6大都市では「休日がほしい」という希望が目立ち、工業都市および商業都市では「労働条件が違つてた」と述べているのがわずかながらみられる。一方人数は少ないが特異なものとしては、「アルバイトをするものに親切にしてほしい」「労働時間を短かくしてほしい」等が6大都市にみられる。

つぎに夏期就労のものについてその希望をみると、常時と同様に一番目立つのは「賃金をあげて欲しい」とのべたもので希望のあるものの61.4%にのぼつている。これについては「労働条件が違つ

ていた」とのべたもの10.0%、「労働時間を短かくして休み時間がほしい」6.3%「親切にしてほしい」4.6%、「休日がほしい」7.5%がこれにつづいている。さらに夏期就労のものの希望を地域別にみると、「賃金をあげてほしい」とのべたものが一番多いのは6大都市に68.7%、農業都市に44.0%みられ、ほか農業都市では「休日がほしい」とのべたものが16%みられ、商業都市では「労働時間を短かくして休み時間が欲しい」が20.8%、工業都市では「親切にしてほしい」という希望が29.3%にのぼり、また6大都市では「労働条件が違っていた」といつたものが12.1%となっている。

〔Ⅲ〕 個人環境調査結果

主として学校に備付けてある個人環境調査票の内容から、アルバイト生徒の家庭環境等を学校教師に転記を依頼した結果について集計すると次に示す通りである。

1 アルバイト生徒の生活程度その他

常時アルバイトに従事している生徒の家庭生活程度をみると、普通以上の家庭は2%にすぎず、普通の家庭が52%で過半数を占め、一方やや貧困な家庭は29.7%で、さらに貧困なものは14.5%みられ、貧困な家庭は合せて、44.2%である。また生活程度について地域別にみると、貧困な家庭の多くみられるのは工業都市で一番多く46.1%、ついで6大都市44.8%、農業都市では39.1%、商業都市では37.9%となつている。また生活程度が普通以上の生徒が目立つのは商業都市で、46%となつている。

つぎに常時アルバイトに従事しているものの家族人員をみると全国1世帯平均世帯人員4.5人(1960年国勢調査による)より上まわる5人家族の生徒が一番多く26.7%、6人家族の生徒は21.0%、ついで3人家族が18.2%みられ、地域別にみてその差はほとんどみられない。

また、働いている家族の人数をみると、1人から7人まで幅広くみられるが、働いている家族が2人のものが一番目立ち、農業都市を除くほか各地域とも一番多くみられる。ついで働いている家族が3人のものがこれについでおり30%前後となつている。また農業都市では働いている家族が3人のものが最も多くて39.1%、ついで働いている家族が4人および5人のものは19.6%となつている。

また夏期アルバイト生徒の家族の生活程度は、合計では「やや貧困」および「貧困」なものの割合は、37.3%となつているが、商業都市ではこの割合が高くて48.0%、ついで農業都市では45.2%、工業都市では43.0%となつており、6大都市では35.8%が「やや貧困」および「貧困」となつている。つぎに家族の人員(本人を含む)(1960年の全国平均世帯人員は4.5人)が一番多いのは5人家族のもので27.9%、ついで6人のものが20.5%、4人のものは18.6%、7人のものは13%といった順になつている。

またこの家族人数は、都市の種類による差はあまりみられない。さらに働いている家族の人数は、常時アルバイトの場合と同様に2人のものが一番多く38.4%、3人のものが26.2%の順となつている。

2 両親の有無と家の中心となつている働き手

常時アルバイトに従事しているものの両親についてみると父親のいないものは18.7%、母親のいないものは6.1%となつており、父のいないものは商業都市にやや多くみられる。また、家の中心となつている働き手が父母以外の者であるものは14.1%みられ、農業都市以外では少数ながら叔父、叔母、義父母、祖父母が家の中心の働き手となつているのが目立っている。

つぎに生活保護法の被適用世帯がどの程度あるかをみると、計では24.1%の生徒となつているが一番多くみられるのは工業都市で26.1%、6大都市では25.4%で、商業都市が一番低くて11.1%となつている。

一方夏期アルバイトに従事しているものについてその両親の有無をみると、計では父母ともその割合は常時アルバイトのものと大きな差はみられない。また家の中心になつてゐる働き手についても父又は母が中心となつてゐるものが最も多く92.2%を示し、父母以外のものは7.8%となつており、少数ながら6大都市では父母以外の叔父叔母、義父義母、義兄、祖父母等がみられる。さらに生活保護法の適用状況をみると、計では被適用世帯は18.2%でこの割合は常時アルバイト生徒の家庭よりも低くなつてゐる。工業都市は32.3%、6大都市17.5%これについて商業都市では16.0%、一方農業都市では非常にその率は低く10.4%となつてゐる。(厚生省調査による保護率は全国で18.2%、昭和38年9月現在)

3 本人の健康状態・欠席日数

常時アルバイトに就労している生徒の健康状態は「普通」のものが一番多く67.1%、ついで「健康」なものが26.7%で、一方「やや弱い」もの「虚弱」なもの、合せて5.6%で非常にその割合は低くなつてゐる。さらにこれらのアルバイト生徒の病氣による38年6月中の欠席日数をみると、計では欠席1日のものが一番多くて病氣欠席をしたもののうち53.3%を占め、ついで2日のもの23.8%、3日のもの19.9%の順となつてゐる。

地域別では農業都市では欠席が目立つて少なく、1日欠席のもののみであるが6大都市では逆に1日から27日のものまで非常にひろい巾がみられ、1日病氣欠席のものが51.3%、2日のものが25.8%、3日のもの11%などが目立つてゐる。

さらに事故による欠席日数についてみると計では1日から20日にまで及んでいるが、やはり1日欠席のものが一番多くて欠席したものの38.4%、2日のものは22%、3日のもの9.9%、4日のもの6.6%と、日数の多いものはその割合は小さくなつてゐる。

地域別では農業都市および工業都市で事故欠席のものが非常に少ないのが目立ち、一方病氣欠席のものと同様に6大都市では欠席日数は1日から25日までの大きな巾を示してゐる。

つぎにアルバイト生徒の学業成績は計では「普通」と教師が答へてゐるものは43.7%、「やや劣る」が32.8%、ついで「劣る」が16.5%で、「優秀」なものは6.4%みられる。また地域別では6大都市では学業が「普通」のものが45.1%、「やや劣る」ものが32.1%であるが、その他の地域においては「やや劣る」ものの割合が一番高く、37.6%~37%みられる。

さらに授業時間中に就労することの有無については就労するものは非常に少ないのがみられる。

学校調査結果集計表

第 1 表 地域別対象中学校数

区 分	学 校 数	%
計	1 6 0	1 0 0
6 大 都 市 地 区	1 0 3	6 4 5
農 業 都 市	1 2	7.5
工 業 都 市	2 5	1 5.6
商 業 都 市	2 0	1 2.4

第 2 表 地域別、学年別、性別生徒数

区 分		計	男	女
農 業 都 市	計	8,811	4,537	4,274
	1 年	2,692	1,383	1,309
	2 年	2,849	1,492	1,357
	3 年	3,270	1,662	1,608
工 業 都 市	計	30,665	16,329	14,336
	1 年	9,837	5,194	4,643
	2 年	10,514	5,597	4,917
	3 年	10,314	5,538	4,776
商 業 都 市	計	22,572	12,463	10,409
	1 年	6,772	3,568	3,204
	2 年	7,871	4,282	3,589
	3 年	7,929	4,613	3,316
6 大 都 市	計	125,173	66,088	59,085
	1 年	37,225	19,600	17,625
	2 年	42,812	22,654	20,158
	3 年	45,136	23,834	21,302
合 計	計	187,221	99,117	88,104
	1 年	56,526	29,745	26,781
	2 年	64,046	34,025	30,021
	3 年	66,649	35,347	31,302

第 3 表 地域別、就労時間別、職種別、性別、生徒数（常時）

職 種			計	男 子			女 子		
				1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
合 計	小 計		5 157	1 266	1 995	1 498	112	110	176
	事 務 員		5	2		3			
	商 店 員		395	51	117	119	20	36	52
	新 聞 配 達		3 552	1 032	1 472	939	39	27	43
	牛 乳 配 達		642	97	268	263	8	3	3
	ゴルフ・キャディー		106	19	34	33	10	4	6
	工 員		253	44	47	81	19	17	45
	そ の 他		204	21	57	60	16	23	27
小 計		228	57	97	53	9	5	7	
農 業 都 市	事 務 員		9		2	3	2	1	1
	商 店 員		174	55	79	33	2	2	3
	新 聞 配 達		33	2	14	14	1	1	1
	牛 乳 配 達								
	ゴルフ・キャディー		4			2		1	1
	工 員		8		2	1	4		1
	そ の 他								
工 業 都 市	小 計		587	120	244	179	8	10	26
	事 務 員		1	1					
	商 店 員		8	1	3	2			2
	新 聞 配 達		477	103	208	133	6	6	21
	牛 乳 配 達		61	11	19	31			
	ゴルフ・キャディー		1	1					
	工 員		15	1	5	5	1	1	2
	そ の 他		24	2	9	8	1	3	1
商 業 都 市	小 計		675	188	260	171	20	22	14
	事 務 員		23	1	3	9	3	3	4
	商 店 員		546	176	211	128	13	11	7
	新 聞 配 達		68	8	30	27	2	1	
	牛 乳 配 達		13	1	8	3			1
	ゴルフ・キャディー		3			1	1	1	
	工 員		22	2	8	3	1	6	2
6 大 都 市	小 計		3 667	901	1 394	1 095	75	73	139
	事 務 員		4	1		3			
	商 店 員		355	49	109	105	15	32	45
	新 聞 配 達		2 355	698	974	645	18	8	12
	牛 乳 配 達		480	76	205	191	5	1	2
	ゴルフ・キャディー		92	17	26	30	10	4	5
	工 員		231	43	42	73	17	14	42
	そ の 他		150	17	38	48	10	14	23

第4表 地域別、就労時期別、職種別、性別、生徒数(夏期)

職 種			計	男 子			女 子		
				1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
合 計	小 計		6 176	708	1 535	1 620	345	980	988
	事 務		43	2	4	6		9	22
	商 店 員		1 587	153	345	434	94	266	295
	新 聞 配 達		882	235	309	274	16	24	24
	牛 乳 配 達		175	28	84	59	1	2	1
	ゴルフ・キャディー		79	15	31	20	3	4	6
	工 員		2 484	218	542	580	160	515	469
	そ の 他		926	57	220	247	71	160	171
農 業 都 市	小 計		148	19	26	45	6	22	30
	事 務		1					1	
	商 店 員		36	5	6	12	1	3	9
	新 聞 配 達		18	7	3	8			
	牛 乳 配 達		4	1	1	1		1	
	ゴルフ・キャディー								
	工 員		17	1	5	2		6	3
	そ の 他		72	5	11	22	5	11	18
工 業 都 市	小 計		520	48	119	153	22	83	95
	事 務		7			1		1	5
	商 店 員		107	9	23	28	4	16	27
	新 聞 配 達		67	15	25	24			3
	牛 乳 配 達		10		4	6			
	ゴルフ・キャディー		4	1	2	1			
	工 員		212	15	48	64	9	44	52
	そ の 他		113	8	17	29	9	22	28
商 業 都 市	小 計		317	70	119	72	15	24	17
	事 務		3		1	1		1	
	商 店 員		43	4	13	7	8	3	8
	新 聞 配 達		162	49	65	39	1	7	1
	牛 乳 配 達		20	4	11	3	1	1	
	ゴルフ・キャディー		18	1	10	6			1
	工 員		19	2	4	6	1	4	2
	そ の 他		52	10	15	10	4	8	5
6 大 都 市	小 計		5 191	571	1 271	1 350	302	851	846
	事 務		32	2	3	4		6	17
	商 店 員		1 401	135	303	387	81	244	251
	新 聞 配 達		635	164	216	203	15	17	20
	牛 乳 配 達		141	23	68	49			1
	ゴルフ・キャディー		57	13	19	13	3	4	5
	工 員		2 236	200	485	508	150	461	432
	そ の 他		689	34	177	186	53	119	120

個人調査結果集計表

第1表 性・年齢・学年・通勤住込別アルバイト年徒数

項目		地 域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
性別	総数		100.0 5,228	100.0 181	100.0 208	100.0 406	100.0 5,433
	男子		62.2 3,872	62.4 113	73.1 152	63.8 259	61.6 3,348
	女子		37.8 2,356	37.6 68	26.9 56	36.2 147	38.4 2,085
年齢	計		100.0 5,228	100.0 181	100.0 208	100.0 406	100.0 5,433
	12才		6.3 390	3.9 7	10.6 22	4.2 17	6.3 344
	13才		26.9 1,673	25.4 46	27.4 57	21.4 87	27.3 1,483
	14才		42.2 2,633	44.1 80	40.3 84	45.6 185	42.1 2,284
	15才		24.2 1,505	26.0 47	21.2 44	27.8 113	23.9 1,301
	16才		0.4 27	0.6 1	0.5 1	1.0 4	0.4 21
学年	計		100.0 5,228	100.0 181	100.0 208	100.0 406	100.0 5,433
	1年		15.8 984	14.4 26	21.6 45	11.1 45	16.0 868
	2年		41.2 2,565	35.9 65	43.8 91	41.6 169	41.2 2,240
	3年		43.0 2,679	49.7 90	34.6 72	47.3 192	42.8 2,325
通勤住込	計		100.0 5,228	100.0 181	100.0 208	100.0 406	100.0 5,433
	通勤		93.8 5,842	93.9 170	91.3 190	93.1 378	93.9 5,104
	住込		6.0 376	6.1 11	8.7 18	6.9 28	6.9 319
	自家		0.2 10				0.2 10

第2表 就労・時期・地域別生徒数 (昭和37年9月1日～
昭和38年8月31日)

項目		地 域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
時期	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	常時		22.6	23.8	51.9	26.4	21.2
	常時とやすみ		1.4	0.6	0.5	1.0	1.5
	やすみのみ(1時期)		71.4	75.0	41.3	67.2	72.8
	やすみ(2時期)		3.9	0.6	5.8	4.7	3.8
	休みはいつ(3時期)		0.7		0.5	0.7	0.7

第3表 地域別アルバイトの職業

地域別		計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
項目						
常時	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1 事務員	0.3				0.3
	2 販売員	59.4	52.3	31.4	53.0	63.0
	3 金属、電気、機械器具製造修理関係従事者、	3.6	4.3		4.4	3.9
	4 建築、建設、木工、その他の作業従事者	9.0	2.1	1.1	6.1	10.2
	5 単純労働者	4.6		1.9	7.8	4.7
	6 運輸通信従事者	0.2				0.1
	7 農林漁業従事者	0.7	8.7	4.6	0.9	
	8 その他	22.2	32.6	61.0	27.8	17.8
夏期休業	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1 事務員	0.7	0.6	2.0	1.6	0.6
	2 販売員	29.6	40.0	40.0	33.3	28.7
	3 金属、電気、機械器具製造、修理関係従事者	13.4	5.8	8.0	8.1	14.1
	4 建築、建設、木工、その他の作業従事者	33.0	10.8	14.0	24.3	34.5
	5 単純労働者	11.0	5.9	5.0	10.6	11.4
	6 運輸通信従事者	0.6		2.0		0.6
	7 農林漁業従事者	1.3	23.7	13.0	2.6	0.3
	8 その他	10.4	5.2	16.0	19.5	9.8

第4表 地域別・就労期間別アルバイト生徒数

地域別		計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
就労の期間						
常時	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	3ヶ月未満	36.0	28.3	29.6	37.4	36.7
	6ヶ月未満	21.2	28.3	16.7	19.2	21.6
	1年未満	19.6	19.6	20.2	17.8	20.4
	2年未満	14.4	19.6	22.2	13.1	13.6
	3年未満	6.0		6.5	6.9	6.1
	4年未満	1.4		2.0	1.2	0.8
	4年以上	1.5	4.2	2.8	4.4	0.8

第5表 地域・勤め先の従業員数別アルバイト生徒数

地域		計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
常時	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1～4人	36.3	37.0	41.6	39.1	35.6
	5～9人	33.4	39.2	34.3	33.1	33.2
	10～29人	14.5	23.8	8.3	18.5	14.3
	30～99人	3.0			4.3	3.2
	100～299人	2.7		3.7	0.7	2.9
	300～999人	0.3				0.3
	1000人以上	0.2				0.2
夏期休暇	わからない	9.6		11.1	4.3	10.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1～4人	26.2	25.5	43.0	26.1	25.9
	5～9人	22.7	34.1	21.0	21.0	22.4
	10～29人	21.0	18.5	16.0	33.3	20.2
	30～99人	11.6	4.9	7.0	11.0	12.0
	100～299人	4.2	5.9	2.0	3.5	4.5
	300～999人	1.0			0.6	1.2
	1000人以上	0.8		1.0		0.5
	わからない	12.5	11.1	10.0	4.5	13.3

第6表 地域・労働日別常時アルバイト就労生徒数(8月中)

地域		計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
労働日数	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	31日～25日	61.1	82.5	63.8	65.1	59.6
	24日～20日	11.8	6.3	4.7	9.7	12.9
	19日～15日	5.2		2.8	2.6	5.8
	14日～10日	5.6	4.3	2.8	3.5	6.2
	9日～5日	3.5	2.3	0.9	3.2	3.6
	4日～1日	2.3	2.3	6.5	2.6	1.3
	不明	10.9	2.3	18.5	11.3	10.6
労働日	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	毎日	78.8	87.0	74.0	84.4	78.3
	隔週に1日	3.2		0.9	0.9	3.7
	週に2日	1.8	4.3	9.3	2.6	1.0
	週に3日	1.3				1.6
	週に4日	0.2				0.2
	週に5日	0.4				0.6
	月に2日	0.3				0.4
	月に3日	0.0				0.0
	月に4日	0.1				0.1
	月に5日	0.0			0.9	
	月に6日	0.1			1.7	
	随時気のむいた日	7.4		3.7	2.6	8.4
	随時たのまれた日	3.5	8.7	0.9	0.9	3.7
	不明	2.9		11.2	6.0	2.0

第7表 地域・労働日数別夏期アルバイト就労生徒数(8月中)

地域		計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
労働日数	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	31日～25日	20.8	19.3	21.0	23.8	20.6
	24日～20日	18.7	11.9	14.0	25.4	18.3
	19日～15日	16.6	17.7	11.0	14.8	16.8
	14日～10日	22.0	17.7	23.0	22.0	22.0
	9日～5日	15.3	31.1	26.0	10.3	14.9
	4日～1日	3.2	2.3	4.0	0.3	3.3
	不明	3.4		1.0	3.4	4.1
労働日	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	毎日	74.5	72.6	75.0	89.0	73.3
	隔週に1日	3.7		3.0	1.2	4.2
	週に2日	1.6				1.8
	週に3日	0.1		1.0		0.0
	週に4日	0.1				0.2
	週に5日	0.2				0.2
	月に1日	0.0				0.0
	月に2日	0.1				0.2
	月に3日	0.1				0.2
	月に4日	0.0				0.0
	月に6日	0.0				0.0
	月に10日	0.0		1.0		0.0
	随時気のむいた日	11.4	20.0	10.0	5.8	11.5
	随時たのまれた日	5.7	7.4	9.0	2.8	5.8
	不明	2.4		1.0	1.2	2.6

第8表 地域・休日回数別アルバイト生徒数(制度として)

地域		項目	計	月1日	月2日	月3日	週休	休日は ない	不明
常時	計		100.0	12.3	20.1	9.1	14.1	36.1	3.3
	農業都市		100.0	7.5	12.5	2.5		77.5	
	商業都市		100.0	20.0	7.5	5.0	8.3	61.2	
	工業都市		100.0	8.2	15.5	4.1	10.3	61.9	
	6大都市		100.0	12.3	22.0	10.3	21.8	29.6	4.0
夏期	計		100.0	3.6	8.2	8.9	46.2	18.2	14.9
	農業都市		100.0	5.1	11.2	3.1	20.4	55.1	5.1
	商業都市		100.0	2.7	16.0	9.3	24.0	22.0	16.0
	工業都市		100.0	8.9	8.9	8.5	41.9	17.1	14.7
	6大都市		100.0	3.1	7.9	9.1	47.9	16.8	15.2

第9表 地域・賃金形態別アルバイト
就労生徒数

地 域 項 目		計	農 業	商 業	工 業	6 大
			都 市	都 市	都 市	都 市
常 時	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	時 間 給	8.9	4.3	2.8	6.1	9.8
	日 給	27.7	13.0	16.7	25.2	29.6
	週 給	2.5	2.2	1.9	0.9	2.7
	月 給	53.4	78.3	65.7	55.7	51.2
	出 来 高 給	3.6	2.2	0.9	10.4	3.2
	賃金をもら つていない	1.1		0.9	1.7	1.1
	不 明	2.8		11.1		2.4
夏 期	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	時 間 給	7.0		4.0		7.8
	日 給	64.9	73.3	59.0	71.1	64.2
	週 給	3.7	1.5	3.0	2.1	3.9
	月 給	20.2	9.6	32.0	22.4	20.1
	出 来 高 給	1.5	14.1		2.7	1.1
	賃金をもら つていない	0.9	1.5			1.0
	不 明	1.8			1.7	1.9

第10表 地域・賃金のもらい方別
アルバイト生徒数

地 域 項 目	計	農 業 都 市	商 業 都 市	工 業 都 市	6 大 都 市
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
毎 日	7.8	10.1	8.7	9.7	7.6
1 週間ま とめ	7.3	3.4	4.3	4.5	7.8
1 月分ま とめ	36.8	30.7	47.9	42.6	36.1
期間のお わり	38.6	51.3	28.5	32.2	38.9
別に定ま っていない	8.3	4.5	4.3	8.4	8.6
月に 2 回	0.3		0.5	1.2	0.2
月に 3 回	0.1			0.7	0.1
不 明	0.8		5.8	0.7	0.7

(注) 賃金をもらっていないと答えた生徒が61名いるので合計は調査対象生徒数とは一致しない。

第11表 地域・アルバイト時間給別生徒数

地域 項目	計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	6大 都市
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
最低	円 10	円 30	円 18	円 20	円 10
16円以下					
10～19	0.4		14.3		0.2
20～29	4.3		57.1	14.3	3.3
30～39	33.3	50.0		14.3	34.1
40～49	28.2		14.3	42.8	28.4
50～59	21.1	50.0		14.3	21.5
60～69	4.3			14.3	4.2
70～79	1.3		14.3		1.1
80～89	1.1				1.1
90～99	0.4				0.4
100円以上	2.6				2.7
最高	円 150	円 50	円 70	円 60	円 150

第12表 地域・アルバイト日給別生徒数

地域 項目	計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	6大 都市
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
最低	円 29	円 30	円 29	円 40	円 30
30円以下	0.0		1.3		
30～49	0.2	1.8		0.8	0.2
50～99	1.4	4.8	6.5	5.1	0.9
100～199	9.4	31.4	37.6	16.5	7.4
200～299	23.1	43.8	36.4	35.4	21.0
300～399	42.1	17.2	11.7	28.0	44.8
400～499	16.1		5.2	8.5	17.5
500～599	5.7		1.3	3.0	6.2
600～699	1.0			1.7	1.0
700～799	0.6				0.6
800～899	0.3	1.0			0.3
900～999	0.0				0.0
1000円以上	0.1				0.1
最高	円 1,500	円 800	円 500	円 650	円 1,500

第13表 地域・週給別アルバイト生徒数

地域 項目	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
最低	円 200	円 200	円 350	円 700	円 200
500円未満	5.1	100.0	14.3		3.6
500～999	11.7		42.9	14.3	10.7
1000～1499	17.3		14.3	28.6	17.3
1500～1999	26.2		28.5	28.5	26.4
2000～2499	21.5			11.3	22.8
2500～2999	9.8			14.3	10.1
3000～3499	4.7				5.1
3500～3999	1.4				1.5
4000～4499	2.3				2.5
最高	円 4,000	円 300	円 1,750	円 2,500	円 4,000

第14表-1 地域・月給別・就労日数別生徒数

金額 \ 日数		合計	30日～ 26日	25日～ 21日	20日～ 16日	15日～ 11日	10日～ 6日	5日～ 1日	不明
合	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	10000 円以下	3.3	2.6	1.4	1.7	3.1	10.8	18.5	7.8
	10000～19999	10.3	10.0	5.2	4.4	11.0	21.8	51.9	14.3
	20000～29999	14.0	14.9	9.3	9.6	14.8	20.8	14.8	18.2
	30000～39999	19.9	23.6	11.9	14.4	18.8	19.2	7.4	27.2
	40000～49999	13.5	15.6	9.3	12.8	13.6	10.8	3.7	13.0
	50000～59999	11.2	9.9	11.9	14.8	17.3	7.5	3.7	6.5
	60000～69999	7.2	5.6	9.7	11.8	8.4	5.8		5.2
	70000～79999	6.2	3.4	13.6	11.4	6.8	2.5		5.2
	80000～89999	4.3	4.2	5.9	9.6	1.0	0.8		
	90000～99999	3.5	2.8	10.2	3.9	1.6			1.3
	100000～109999	2.9	3.0	6.8	1.7	1.6			1.3
	110000～119999	1.0	1.0	0.8	2.2	0.5			
	120000～129999	1.3	1.8	2.5		1.0			
	130000 円以上	1.4	1.6	2.5	1.7	0.5			
計	賃金なし(実数)	61				3	14	26	18

第14表-2

金額 \ 日数		合計	30日～ 26日	25日～ 21日	20日～ 16日	15日～ 11日	10日～ 6日	5日～ 1日	不明
農 業 都 市	計	100.0	100.0	100.0		100.0			
	10000 円以下	20.4	15.9	33.4		100.0			
	10000～19999	36.6	40.9						
	20000～29999	26.5	29.6						
	30000～39999	4.1	4.5						
	40000～49999	6.1	4.5	33.3					
	50000～59999	2.1	2.3						
	60000～69999	2.1		33.3					
	70000～79999								
	80000～89999	2.1	2.3						
	90000～99999								
	100000～109999								
	110000～119999								
	120000～129999								
	130000 円以上								
	賃金なし(実数)	2							2

第14表-3

金額 \ 日数		合計	30日～ 26日	25日～ 21日	20日～ 16日	15日～ 11日	10日～ 6日	5日～ 1日	不明
商 業 都 市	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	10000 円以下	10.7	6.2			33.3	44.5	12.5	33.3
	10000～19999	36.0	33.8	22.2	16.7	66.7	33.3	75.0	33.3
	20000～29999	24.3	27.7	44.5	16.7		11.1	12.5	
	30000～39999	18.4	18.5	11.1	66.6		11.1		33.4
	40000～49999	6.8	10.8						
	50000～59999	1.9	1.5	11.1					
	60000～69999								
	70000～79999								
	80000～89999								
	90000～99999								
	100000～109999	1.9	1.5	11.1					
	110000～119999								
	120000～129999								
	130000 円以上								
	賃金なし(実数)	1						1	

第14表-4

金額 \ 日数		合計	30日～ 26日	25日～ 21日	20日～ 16日	15日～ 11日	10日～ 6日	5日～ 1日	不明
工 業 都 市	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1000円以下	4.7	1.5				25.0	75.0	12.5
	1000～1999	9.3	4.5	5.0	11.8	33.4	25.0	25.0	12.5
	2000～2999	12.4	16.3			22.2	50.0		12.5
	3000～3999	24.8	35.8	15.0		22.2			37.5
	4000～4999	10.9	14.9	5.0	5.9				25.0
	5000～5999	11.6	12.0	10.0	17.6	22.2			
	6000～6999	9.3	6.0	10.0	35.3				
	7000～7999	8.5	1.5	30.0	23.5				
	8000～8999	2.3	1.5	5.0	5.9				
	9000～9999	3.1	3.0	10.0					
	10000～10999	3.1	3.0	10.0					
	11000～11999								
	12000～12999								
	13000円以上								
賃金なし(実数)		2					1		1

第14表-5

金額 \ 日数		合計	30日～ 26日	25日～ 21日	20日～ 16日	15日～ 11日	10日～ 6日	5日～ 1日	不明
6 太 都 市	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1000円以下	2.1	1.6		1.9	1.7	7.5	6.7	6.1
	1000～1999	7.8	6.3	4.4	3.4	9.0	20.6	46.6	13.6
	2000～2999	13.0	12.7	8.8	10.2	14.8	20.6	20.0	19.7
	3000～3999	20.0	24.0	11.8	14.2	19.2	20.6	13.3	25.7
	4000～4999	14.5	16.8	9.8	13.6	14.7	12.1	6.7	12.1
	5000～5999	12.1	11.0	12.3	15.0	17.5	8.4	6.7	7.6
	6000～6999	7.7	6.5	9.8	10.2	9.0	6.5		6.1
	7000～7999	6.6	4.2	12.7	10.7	7.3	2.8		6.1
	8000～8999	4.8	4.9	6.4	10.2	1.1	0.9		
	9000～9999	3.9	3.2	10.8	4.4	1.7			1.5
	10000～10999	3.0	3.3	6.4	1.9	1.7			1.5
	11000～11999	1.2	1.3	1.0	2.4	0.6			
	12000～12999	1.6	2.2	2.9		1.1			
	13000円以上	1.7	2.0	2.9	1.9	0.6			
賃金なし(実数)		56				3	13	25	15

第15表 地域・賃金の使途別アルバイト生徒数

項 目		地 域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
常 時	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1	み せ る	95.7	91.3	84.1	96.5	96.9
	2	み せ な い	2.8	8.7	4.7	3.5	2.3
	3	不 明	1.5		11.2		0.8
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	賃金	(1) 家には出さない	20.2	19.6	22.4	19.5	20.1
	の	(2) 一変家に全部出しそれをみんなもらう	11.5	4.3	15.9	12.4	11.4
	使	(3) 家に全部出し改めておこづかいをもらう	32.5	32.5	21.5	27.4	33.7
	途	(4) 家に全部出し特にこづかいはもらわない	6.1	19.6	7.5	3.5	5.8
		(5) 一部分を家に出す	25.7	21.6	21.5	36.3	25.2
夏 期	不 明		4.0	2.2	11.2	0.9	3.8
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1	み せ る	97.5	97.0	97.0	99.0	97.4
	2	み せ な い	2.0	3.0	3.0	1.0	2.0
期	3	不 明	0.5				0.6
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	賃金	(1) 家には出さない	21.3	22.6	39.0	11.7	21.5
	の	(2) 一変家に全部出しそれをみんなもらう	17.2	13.5	11.0	13.1	17.8
	使	(3) 家に全部出し改めておこづかいをもらう	25.5	33.1	24.0	32.2	24.9
	途	(4) 家に全部出し特にこづかいはもらわない	5.7	10.5	6.0	7.6	5.4
		(5) 一部分を家に出す	26.7	18.0	20.0	34.0	26.5
期	不 明		3.6	2.3		1.4	3.9

(注) 賃金をもらっていないと答えた生徒が6.1名いるので合計は調査対象生徒数とは一致しない。

第16表 地域・仕事を始めた理由別アルバイト生徒数

項 目		地 域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
常 時	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1	家のくらしを助けるため	18.2	19.6	10.2	18.3	18.8
	2	学校の費用を得るため	13.4	6.5	15.7	13.0	13.5
	3	買いたいものがあるため	30.2	41.3	30.6	27.0	30.1
	4	こづかいを得るため	34.3	34.8	39.8	25.2	34.7
	5	貯金をするため	27.3	19.6	25.9	38.3	26.7
	6	健康のため	16.9	6.5	25.0	16.5	16.6
	7	そ の 他	10.8	19.6	23.1	13.9	9.1
	8	不 明	0.3			1.7	0.2
夏 期	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1	家のくらしを助けるため	9.9	9.6	13.0	14.4	9.5
	2	学校の費用を得るため	6.9	8.9	11.0	6.9	6.8
	3	買いたいものがあるため	36.0	28.1	33.0	39.9	36.0
	4	こづかいを得るため	32.6	40.0	25.0	27.8	32.9
	5	貯金をするため	16.7	13.3	13.0	12.4	17.2
	6	健康のため	6.7	5.2	10.0	6.9	6.6
	7	そ の 他	18.1	31.1	21.0	19.2	17.6
	8	不 明	0.3				0.4

第17表-1 地域・就労の
感想別アルバイト生徒数(常時)

地 域 項 目	計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	大 6 都市
合 計	1000	1000	1000	1000	1000
計	35.3	76.1	76.9	72.2	26.6
金がたまつて良か つた。いふもの のを買えた。貯金 金を得ることは 大変な労働であ ることがわかつた	70.9	54.3	56.6	31.3	86.6
社会の事など良 くわかつた。良 い経験が出来た	21.6	8.6	10.8	15.7	27.3
体が丈夫になつた	29.3	8.6	14.5		42.9
主人・店の人が 親切でよかつた	15.9	2.9	8.4	1.2	23.0
働いたのしさが よくわかつた	9.8	11.4	2.4	7.2	12.1
仕事のつらさが よくわかつた	5.2		2.4	1.2	7.5
たのしかつた。 仕事に自信をも つた	10.3	2.9	1.2		16.1
朝早く規則正し く起きたので健 康によいと思つた	38.0	22.9	18.1	39.8	44.4
労働している人達 の気心がわかつた	3.6	2.9		1.2	5.3
友達が出来た	9.4		2.4	3.6	13.7
少しでも母を経 済的に助ける事 が出来てよかつた	9.6	5.7	2.4	8.4	12.1
自分の力をため すことが出来、 ためになつた	6.9		8.4	4.8	7.8
就職時に役立つ と思つた	5.7				9.3
そ の 他	5.2	5.7	6.0	2.4	5.6
な し	64.7	23.9	23.1	27.8	73.4

第17表-2 地域・就労の
感想別アルバイト生徒数(夏期)

地 域 項 目	計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	大 6 都市
合 計	1000	1000	1000	1000	1000
計	76.0	83.7	86.0	75.9	75.5
金がたまつて良か つた。いふもの のを買えた。貯金 金を得ることは 大変な労働であ ることがわかつた	38.3	45.1	37.2	27.6	38.8
社会の事など良 くわかつた。良 い経験が出来た	9.5	6.2	5.8	10.9	9.6
体が丈夫になつた	15.0	16.8	5.8	14.0	15.3
主人・店の人が 親切でよかつた	3.4	4.4	7.0	3.6	3.2
働いたのしさが よくわかつた	14.0	8.0	12.8	17.2	14.0
仕事のつらさが よくわかつた	7.8	3.5	24.4	6.3	7.6
たのしかつた。 仕事に自信をも つた	4.4	0.9	3.5	3.2	4.6
朝早く規則正し く起きたので健 康によいと思つた	8.0	12.4	8.1	15.4	7.3
労働している人達 の気心がわかつた	6.0	5.3	2.3	5.9	6.1
友達が出来た	2.1	3.5		3.2	2.0
少しでも母を経 済的に助ける事 が出来てよかつた	5.3	1.8	4.7	3.2	5.6
自分の力をため すことが出来、 ためになつた	3.0	2.7	3.5	6.8	2.7
就職時に役立つ と思つた	3.2	4.4		2.7	3.4
そ の 他	4.1	1.8	2.3	5.0	4.2
な し	1.9	7.1	5.8	5.4	1.4
な し	24.0	16.3	14.0	24.1	24.5

第18表-1 地域・就労の感想別アルバイト生徒数

— 困ったこと
— いやだと思つたこと — (常時)

地 域 項 目	計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	大 6 都市
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
計	59.5	65.2	75.0	57.4	58.1
雨がふるとぬれ ○風邪で学校を休 むこと	19.9	16.7	21.0	37.9	18.2
配達途中の事 ○故、ビンワレ、 パンク等	8.7	20.0	11.1	13.6	7.5
○ねむい	21.2	16.7	13.6	19.7	22.5
金の計算をまち ○がえたり失敗を した時	3.4	3.3	2.5	6.1	3.3
○犬がいてこわか つた	3.7		11.1		3.4
○給料が少なかつ た	2.7	6.7	4.9	1.5	2.4
○足、腰、肩が痛 かつた	8.5		11.1		9.4
店の品物や店内 ○でいろいろの失 敗があつた時	4.4		2.5		5.3
アルバイト生徒 ○と前から働いて いる人と差別待 遇される時	0.3		1.2		0.3
先輩があまりや ○さしくない、こ きつかわれる	2.3				2.8
○はずかしい	3.4	6.7	4.9	1.5	3.3
使用者から文句 ○やいじわるをい われる	6.4	3.3	4.0	6.1	6.8
配達先で困るこ ○とがある(犬、い やみ)	9.8	16.7	14.8	10.6	8.8
○つかれのため勉 強ができない やるべき事をし ○たのに、それ以 外の事をさせる	9.3	6.7	2.5	12.1	10.0
○やる時間少くない	0.9		4.9		0.6
○あつい、さむい	2.4		9.9	9.1	1.0
○仕事がつつい、 つらい	4.2	16.7	7.4		3.7
○配達先が見つ からない	0.3				0.4
○牛乳がぬすまれる	4.8		6.2		5.3
○帰りがおそい	1.1	10.0			1.0
○そ の 他	4.7	10.0	6.2	12.1	3.6
○な し	40.5	34.8	25.0	42.6	41.9

第18表-2 地域・就労の感想別アルバイト生徒数

— 困ったこと
— いやだと思つたこと — (夏期)

地 域 項 目	計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	大 6 都市
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
計	51.5	54.8	57.0	48.1	51.5
雨がふるとぬれ ○風邪で学校を休 むこと	2.9	9.5	5.3	1.4	2.7
配達途中の事 ○故、ビンワレ、 パンク等	2.2	4.1	1.8	2.9	2.2
○ねむい	7.8	9.5	12.3	12.1	7.3
金の計算をまち ○がえたり失敗を した時	4.3	1.4	8.8	5.0	4.2
○犬がいてこわか つた	0.4			1.4	0.4
○給料が少なかつ た	3.8	6.8	1.8	3.6	3.8
○足、腰、肩が痛 かつた	29.0	18.9	26.3	9.3	30.7
店の品物や店内 ○でいろいろの失 敗があつた時	8.2	10.8	5.3	8.6	8.1
アルバイト生徒 ○と前から働いて いる人と差別待 遇される時	1.0	2.7			1.1
先輩があまりや ○さしくない、こ きつかわれる	5.6	2.7		5.0	5.8
○はずかしい	2.0		1.8	3.6	2.0
使用者から文句 ○やいじわるをい われる	10.9	8.1	7.0	12.9	11.0
配達先で困るこ ○とがある(犬、い やみ)	3.8	6.8	3.5	1.4	3.9
○勉強がつかれの ためできない やるべき事をし ○たのにそれ以外 の事をさせる	16.6	13.5	17.5	16.4	16.6
○やる時間少くない	1.4	6.8		2.1	1.2
○暑い	1.2			2.1	1.2
○仕事がつらい	2.4	16.2		16.4	1.1
○配達先が見つ からない	0.7			2.9	0.6
○そ の 他	2.8	13.5	8.8	4.3	2.2
○な し	48.5	45.2	43.0	51.9	48.5

第19表 地域・怪我のための休業日数・医療費・アルバイト高年生徒数

項目		地域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
		計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	な	い	91.5	93.4	85.1	93.3	91.5
2	あ	る	8.5	5.6	14.9	6.7	8.5
休業日数	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	①	8日以上休んだ	4.1		3.2		4.6
	②	1日～7日休んだ	22.4	25.0	12.9	18.5	23.2
	③	休まずに済んだ	68.6	75.0	83.9	81.5	66.6
	不明		4.9				5.6
医療費	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	①	自分の家で払った	18.5	41.7	12.9	7.4	18.9
	②	雇い主が全部払った	17.1	16.7	3.2	14.8	18.2
	③	雇い主が一部、あとは自分の家で払った	3.6	8.3		11.1	3.3
	④	労災保険で払った	0.6				0.6
	⑤	その他	43.6	25.0	71.0	53.0	41.2
	不明		16.6	8.3	12.9	3.7	17.8

第20表 地域・勉強上困ること別アルバイト生徒数

項目		地域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
		計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
な		い	72.5	82.6	65.7	72.2	72.7
あ		る	27.5	17.4	34.3	27.8	27.3
常時	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	授業中ねむかった		33.7	37.5	32.5	6.3	36.4
	勉強するのが夜になるのでねむい		16.0		5.4	21.9	17.0
	勉強するのがいやになる		9.8		10.8	15.5	9.4
	勉強する時間がなくて困る		16.5	37.5	13.5	25.0	15.5
	帰りがおそいので勉強する時間がない		18.7		27.0	25.0	17.6
	学習塾に行く時間とからあうので困る		0.5				0.6
	つかれる		4.7				5.8
	つかれる為勉強出来ない		0.7				0.9
	遅刻		0.7	25.0			0.3
	その他		5.7		10.8	6.3	5.2
夏期	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	な		77.9	83.7	77.0	74.2	78.0
	あ		22.1	16.3	23.0	25.8	22.0
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	宿題が出来ない		57.6	77.3	34.8	76.0	56.2
	つかれてねむくて困った		30.9	13.6	47.8	25.3	31.3
	登校日に出席できない		0.3				0.3
	店主がむかえに来るので困った		0.2		4.3		0.1
	勉強するのが夜になるのでねむい		1.9				2.2
	勉強するのがいやになる		1.9				2.2
	勉強する時間がなくて困る		2.6				2.9
	帰りがおそいので勉強する時間がない		2.8				3.1
	学習塾に行く時間とから合うので困る		0.6				0.6
	その他		3.3	9.1	13.1	4.0	2.9

第21表 地域・希望別アルバイト生徒数

項 目		地 域	計	農業都市	商業都市	工業都市	6大都市
常 時	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	計		15.9	41.3	33.3	14.8	13.5
	賃金をあげて欲しい		59.7	52.6	66.7	41.2	61.0
	犬をしばつてほしい		3.8	10.5	5.6		3.0
	牛乳配達を夜するようにして欲しい		1.3				1.9
	雨の日は休みにして欲しい		1.3		2.8		1.2
	雨具を貸して欲しい		0.4				0.6
	休日が欲しい		11.9	21.1			14.6
	労働条件が違っていた		2.5		5.6	5.9	1.8
	アルバイトをしている人に親切にして欲しい		2.1				3.0
	時間を短くして欲しい		1.7				2.4
	学校でアルバイトの世話をして欲しい		0.8				1.2
	社内を明るくして欲しい		0.4				0.6
	仕事の内容をよく説明してもらいたい		0.4				0.6
	1人で出来ないような仕事は与えないで欲しい		0.4				0.6
	給料日をきめてもらいたい		0.8				1.2
	牛乳瓶を毎日出してほしい		1.7				2.4
	牛乳瓶を毎日洗つてほしい		1.7				2.4
	外燈をつけてほしい		0.4				0.6
	悪いことがあると僕たちのせいにするのはよしてもらいたい		0.8		5.6		
	そ の 他		16.1	26.3	13.9	52.9	11.6
	な し		84.1	58.7	66.7	85.2	86.5
夏 期	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	計		8.7	37.0	24.0	14.1	7.0
	賃金をあげて欲しい		61.4	44.0	41.7	41.5	68.7
	犬をしばつてほしい		1.2	4.0			1.0
	牛乳配達を夜にするようにして欲しい		0.7	6.0			
	雨の日は休みにして欲しい		0.7			2.4	0.7
	雨具を貸して欲しい		0.2				0.3
	休日がほしい		7.5	16.0		2.4	7.4
	労働条件が違っていた		10.0	4.0	4.2	4.9	12.1
	労働時間を短く 休み時間が欲しい		6.3	12.0	20.8	14.6	3.0
	親切にしてほしい		4.6			29.3	2.4
	アルバイトをいろいろ欲しい		1.2		20.8		
	またアルバイトをしたい		1.2	10.0			
	残業をしたかつた		1.2	10.0			
	労働時間をきめてほしい		1.0	8.0			
	そ の 他		6.8	4.0	12.5	17.1	5.4
	な し		91.3	63.0	76.0	85.9	93.0

○様式第1表-1 地域・生活程度・家族人員・働いている家族の人数別アルバイト生徒数

(常時)

地域		計	農業都市	商業都市	工業都市	六大都市
項目		計	100.0	100.0	100.0	100.0
生活程度	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	普通以上	2.0		4.6	1.7	1.9
	普通	52.0	58.7	54.7	52.2	51.5
	やや貧困	29.7	23.9	19.4	28.7	31.0
	貧困	11.5	15.2	18.5	17.4	13.8
家族人員 (本人を含む)	不明	1.8	2.2	2.8		1.8
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	本人のみ	0.1				0.1
	2人	2.8	4.3	3.7	1.7	2.8
	3人	8.8	8.7	1.9	10.4	9.2
働いている家族の人数 (含本人)	4人	18.2	15.2	20.3	18.3	18.1
	5人	26.7	37.1	25.0	27.0	26.3
	6人	21.0	13.1	25.0	20.0	21.1
	7人	12.6	6.5	14.8	13.9	12.6
	8人	6.4	8.7	7.4	6.1	6.2
働いている家族の人数 (含本人)	9人	1.7	4.3	1.9	2.6	1.5
	10人	0.8	2.2			0.9
	11人	0.3				0.4
	12人					
	13人	0.1				0.2
働いている家族の人数 (含本人)	不明	0.5				0.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0人	0.2				0.2
	1人	7.4		0.9	16.4	7.4
	2人	33.9	17.4	42.6	31.3	34.1
働いている家族の人数 (含本人)	3人	31.3	39.1	29.7	31.3	31.1
	4人	17.0	19.6	15.7	15.7	17.2
	5人	6.4	19.6	4.6	2.6	6.4
	6人	2.0		6.5	0.9	1.7
	7人	0.7	4.3		0.9	0.7
働いている家族の人数 (含本人)	不明	1.1			0.9	1.2

○様式第1表-2 地域・生活程度・家族人員・働いている家族の人数別アルバイト生徒数 (夏期)

地域		計	農業都市	商業都市	工業都市	六大都市
項目		計	100.0	100.0	100.0	100.0
生活程度	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	普通以上	2.5	3.0	4.0	2.1	2.4
	普通	58.1	50.3	47.0	44.2	59.5
	やや貧困	25.4	28.9	31.0	26.5	25.1
	貧困	11.9	16.3	17.0	20.5	10.7
家族人員 (本人を含む)	不明	2.1	1.5	1.0	0.7	2.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	本人のみ	0.6			10.0	0.0
	2人	2.5		6.0	4.1	2.4
	3人	8.2	6.7	10.0	10.1	8.1
働いている家族の人数 (含本人)	4人	18.6	29.6	14.0	19.6	18.2
	5人	27.9	30.4	27.0	25.5	27.8
	6人	20.5	12.6	27.0	7.9	21.4
	7人	13.0	11.1	9.0	14.1	13.1
	8人	5.3	5.2	3.0	5.5	5.4
働いている家族の人数 (含本人)	9人	2.0	4.4	2.0	1.7	2.0
	10人	0.6		2.0	1.0	0.6
	11人	0.1				0.2
	12人	0.1			0.3	0.1
	13人	0.0				0.0
働いている家族の人数 (含本人)	不明	0.6			0.3	0.7
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1人	16.0	3.7	16.0	25.1	16.8
	2人	38.4	31.2	26.0	33.3	38.9
	3人	26.2	37.8	33.0	22.7	26.0
働いている家族の人数 (含本人)	4人	12.5	20.7	13.0	11.0	12.3
	5人	4.2	4.4	1.0	5.0	4.2
	6人	1.3	2.2	1.0	1.4	1.3
	7人	0.3				0.3
	不明	1.1			6.7	1.2

C様式第2表-1 地域・両親の有無・働き手・生活保護法の適用別アルバイト生徒数（常時）

項目		地域	計	農業都市	商業都市	工業都市	大都市
父	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	あり		80.6	95.7	77.8	80.0	80.3
	なし		18.7	4.3	22.2	19.1	18.9
	不明		0.7			0.9	0.8
母	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	あり		92.7	93.5	92.6	90.4	92.9
	なし		6.1	6.5	6.5	8.7	5.8
	不明		1.2		0.9	0.9	1.3
家の中心になつてゐる働き手	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	父		70.3	76.1	70.4	67.8	70.9
	母		15.1	15.2	13.9	17.4	15.0
	兄		8.0	4.3	8.3	7.0	8.3
	姉		1.9	2.2	1.9	5.2	1.6
	叔父		0.5	2.2		0.9	0.4
	叔母		0.1			1.7	
	義父		0.1		0.9		0.1
	義兄		0.1		0.9		
	祖父		0.4		0.9	0.9	0.3
	祖母		0.3				0.4
	本人		0.5		0.9		0.5
	不明		2.4		1.9	4.3	2.4
	なし		0.3			3.5	0.1
生活保護法の被適用状況	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	被適用である		24.1	17.4	11.1	26.1	25.4
	被適用ではない		72.7	82.5	87.0	70.4	71.2
	不明		3.2		1.9	3.5	3.4

C様式第2表-2 地域・両親の有無・働き手・生活保護法の適用別アルバイト生徒数（夏期）

項目		地域	計	農業都市	商業都市	工業都市	大都市
父	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	あり		82.4	82.2	86.0	80.1	82.6
	なし		17.0	17.8	14.0	19.9	16.8
	不明		0.6				0.6
母	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	あり		94.1	96.3	93.0	91.0	94.2
	なし		5.0	3.7	6.0	7.6	4.9
	不明		0.9		1.0	1.4	0.9
家の中心になつてゐる働き手	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	父		75.9	74.8	74.0	69.1	76.4
	母		16.3	20.0	18.0	19.2	16.0
	兄		7.4	6.7	3.0	9.6	7.3
	姉		2.4	1.5	1.0	1.4	2.5
	叔父		0.5	1.5	1.0		0.5
	叔母		0.1				0.1
	義父		0.0				0.0
	義兄		0.1				0.1
	祖父		0.1	0.7		0.7	0.1
	祖母		0.1	0.7			0.1
	本人		0.0				0.0
	弟		0.0				0.0
	不明		2.1				2.3
生活保護法の被適用状況	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	被適用である		18.2	10.4	16.0	32.3	17.5
	被適用ではない		78.3	89.6	82.0	67.4	78.7
	不明		3.5		1.0	0.3	3.8

C様式第3表 地域・本人の健康・欠席日数・学業・授業時間中の就労別アルバイト生徒数

地域		計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	大 都市
項目						
健康 状態	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	健康	26.7	25.4	38.9	26.4	26.3
	普通	67.1	70.2	56.3	66.8	67.4
	やや弱い	5.4	3.3	3.8	6.4	5.4
	虚弱	0.2	1.1	0.5	0.2	0.2
	不明	0.6		0.5	0.2	0.7
欠 席 日 数	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1日	53.3	100.0	62.4	46.1	51.3
	2日	23.8		6.3	23.1	25.8
	3日	10.9		25.0		11.0
	4日	2.3			30.8	0.9
	5日	3.8		6.3		3.9
	6日	1.9				2.2
	7日	0.7				0.9
	8日	0.7				0.9
	10日	0.7				0.9
	11日～	1.9				2.2
欠 席 日 数 の 状 況	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1日	38.4		50.0		39.2
	2日	22.0		25.0		22.8
	3日	9.9		12.5	66.7	7.6
	4日	6.6		12.5		6.3
	5日	4.4				5.1
	6日	3.3	100.0			2.5
	8日	1.1				1.3
	9日	1.1			33.3	
	10日	5.5				6.3
	11日	1.1				1.3
	12日	1.1				1.3
	13日	2.2				2.5
	18日 以上	1.1				1.3
	20日 以上	2.2				2.5
地域		計	農業 都市	商業 都市	工業 都市	大 都市
項目						
欠 席 の 他 の 状 況	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1日	40.0	100.0	33.3	20.0	43.8
	2日	20.0		33.3	20.0	18.8
	3日	16.0				25.0
	4日	12.0		33.4	20.0	6.2
	5日	8.0			20.0	6.2
	9日	4.0			20.0	
欠 席 の 状 況	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1日	44.7	77.8	55.6	33.3	43.5
	2日	24.0	11.1	14.8	19.1	25.5
	3日	12.6		18.5	9.5	12.6
	4日	4.2		7.4	23.8	2.7
	5日	3.9			4.8	4.3
	6日	2.8	11.1	3.9		2.7
	7日	0.6				0.7
	8日	0.8				1.0
	9日	0.6			9.5	
	10日	2.2				2.7
	11日	0.8				1.0
	12日	0.8				1.0
	13日	0.6				0.7
	14日	0.3				0.3
	18日	0.3				0.3
	20日 以上	0.8				1.0
学 業 の 状 況	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	優秀	6.4	6.6	8.2	3.7	6.5
	普通	43.7	35.9	32.2	36.0	45.1
	やや劣る	32.8	37.6	37.0	37.6	32.1
	劣る	16.5	19.9	22.1	22.7	15.7
授 業 時 間 中 の 就 労	不明	0.6		0.5		0.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	ない	99.9	100.0	99.5	99.8	99.9
授 業 時 間 中 の 就 労	ある	0.1		0.5	0.2	0.1

GAa1/1

労働省婦人少年局



女性と仕事の本元館



00765934